(年中無休刊行) (日曜日) 大正六年四月二十一日 KEIJO NIPPO

# 京城日報

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

## ○米國は單獨行動せよ
### 上院議員の決議案提出

華盛頓發其筋著電に曰く上院議員セルマン氏は米國は聯合國を離れて獨逸又は其の同盟國と交通せざる旨聯合國と訂約すべしとの趣旨の決議案を提出し直ちに外交委員會の手に移されたり(東京特電)

## ○講和提議と露政府

米國聯合通信社華盛頓通信員所報に曰く、露國臨時政府が單獨講和に關する獨墺社會黨の提議に盲從するが如き事なからんとの確報當地に到著せり(紐育電報)

▲露國の單獨講和說盛なるも同政府は斷じて單獨講和せざる旨を言明す(路透電報)

## ○西班牙內閣總辭職

西班牙內閣は總辭職を爲せり(倫敦電報)

## ○又も獨帝の重態說

又復獨逸皇帝重態なりとの說あり(路透電報)

## ○獨軍事公債應募額

ベルン發其筋著電に依れば十六日締切たる獨逸第六回軍事公債應募額は百二十七億七千馬克に達したり(東京特電)

## ○墺洪國三大臣辭職

墺洪國內反對黨運動勃發の結果洪牙利國首相及び墺國二大臣辭職せり(路透電報)

## ○執行委員會活動

東清鐵道支線南部雙城堡、寬城子各驛に於て露曆三月二十九日執行委員會を組織し東清鐵道南部線中央委員會と聯絡を保持しトニテウエールハチンスキー氏を委員長に推し各驛に常務委員を置き滯貨輸送上大に活動せんとせり(長春特電)

## ○逐鹿界形勢

總選擧に對する其後の政府筋の觀測は政友會百六十三名政府贊成中立派四十八名計二百十一名憲政會百三十名國民黨三十二名政府反對中立派八名計百七十名差引四十一名の政府側優勢を示せり或る觀測者は右は多少樂觀に過ぐるも兎に角最少限十名を以て政府黨の勝利に歸す可きは疑ひを容るゝの餘地なし(東京電報)

## ○憲政當選豫想

憲政會總務濱口雄幸氏は頗る苦しの狀態にありしも其後形勢を持ち直し辛ふじて當選を見るべく柴四朗氏は落選片岡直溫河野廣中二氏は當選速見整爾氏は落選の見込みなり(東京電報)

## ○北海大阪如何

北海道に於ける選擧形勢は最も都合よく運びて憲政會は漸く一名當選の見込みあり他は全部政府側なるが此憲政會一名も甚だ危殆の狀態にあり政友會木下成太郎氏當選せば全道を擧げて殆んど憲政會を止めざるに至る可く大阪市も亦憲政會紫安新九郎氏危きを以て憲政會全滅の姿也(東京電報)

## ○選擧結果

▲東京市 總選擧の結果東京市の當選者左の如し(東京特電)

最高點
鳩山一郎(政、前、公)
鈴木梅四郎(國、前、公)
高木益太郎(國、前、公)
栗須七郎(憲、前、公)
金杉英五郎(贊中、新)
關直彥(國、前、公)
横山勝太郎(憲、新、公)
磯部尚(政、新、公)
三木武吉(憲、新、公)
頼母木桂吉(憲、前、公)
古島一雄(國、前、公)

▲横濱市 總選擧の結果横濱市の當選者左の如し(横濱特電)

若尾幾造(政、元、公)
島田三郎(憲、前、公)

▲門司市 門司市及び下關市の總選擧結果左の如し(門司特電)

毛里保太郎(政、元、公) 五七八票
次點三三二票 石田平吉(憲、前、公)

▲下關市

林平四郎(贊、中) 四六四票
次點三三五票 久富久吉(憲、新、公)

▲各市 京城通信社著電各市當選者の內判明せる者左の如し

新潟市 關矢儀八郎(政、元、公)
前橋市 平田健太郎(反、新、中)
高崎市 土谷全治(政、新、公)
水戶市 小山田信藏(政、元、公)
津市 越山太刀三郎(准政、新)
四日市 井島茂作(准憲、新)
大津市 吉村鐵之助(贊中、新)
甲府市 若尾璋八(贊中、新)
靜岡市 尾崎元次郎(贊中、前)
岐阜市 河崎助太郎(反中、前)
長野市 諏訪部庄左衞門(政、新、公)
金澤市 中橋德五郎(政、前、公)
富山市 高見之通(政、新、公)
鳥取市 臼田久內(憲、元、公)
高岡市 菅野傳右衞門(政、元、公)
小倉市 友枝梅次郎(政、元、公)

## ●支那政界の大問題
### 俎上の財政總次長

支那財政總長陳錦濤及び次長段汝驪兩氏に關する收賄問題は漸く世の物議を惹起し今や之を制止するの途なきに至れるが今

▲本問題の經過 を聞くに彼の保利公司一派が制錢收燬を計畫し議會に其內容を看破され解散の止むなきに至るや彼等は陳總長の私宅に於て運收密議の結果商資九百萬官資一百萬を合せて練銅廠を組織する事を計り其の報酬として當事者(總次長?)に二十萬元を贈る契約をなし半額十萬元は受渡濟みとなりしものなりと云ふ右事件は既に

▲政界の大問題 となり十七日の參議院は本問題に關し總理の出席を求めたるに段氏は同日午後二時五十五分出席、議員の質問に對したるが未だ調査を名として其の多くを語らざりき、是より先政府は此の醜事件の暴露に狼狽し調査委員に更に公府秘書長、張內務次長を指名し二氏は

▲其の眞相調査 の爲と稱し十七日財政部に赴きたるも已に一切の證據物件は沒收され何時にても法院に移送するの準備整ひ居れる今日右は單に手續上の形式に過ぎざりしものの如く段氏は昨今其の罪を免るる方法につき各方面に運動中なるが衆議統一の如き官吏收賄の千圓以上に在る者は死刑に處するてふ規定に據るべきを洩らし又各政黨間にても陳段兩氏所屬の國民黨すら一人の出で之を辯護せんとする者なく其他一般に極刑論を主張しつゝあれば兩氏の運命は宛ら噴火口上に起てるものゝ如く頗る危險の狀態にあり(奉天)

問題の人(右 財政總長陳錦濤氏 左 次長段汝驪氏)

## ●御眞影奉戴式

憲兵隊司令部にては廿二日午前十時より階上應接室に於て今回御下賜相成りたる皇后陛下御影奉戴式を擧行し司令部將校同相當官准士官等一同拜賀の式を行へり

## ●總督邸午餐會

長谷川總督は二十三日午後零時三十分より入京中の鎭海灣要港部司令官東郷中將を官邸に招待午餐會を催すことゝなれり當日は山縣政務總監、秋山司令官、立花師團長、古海警務總長、蔭屋、高橋兩武官、荻田總務局長、並門中將副官、齋藤、大島兩總督副官、遠藤、神田兩秘書官、軍司令官、師團長、警務總長等の各副官等出席す可く主客十六名なり

## ●赤愛看護婦授敎

朝鮮總督府醫院委託養生の赤十字社看護婦生徒志願者は十三日體格檢査十四日學術試驗を執行の結果二十名を採用に決し二十一日午前十時總督府醫院內に於て始業式を擧行せり、當日は芳賀醫院長の懇篤なる訓示、久恐醫育課長の注意等あり赤十字社本部よりは大塚主幹列席したり

## ●東郷中將入京

鎭海灣要港部司令官東郷中將は並河副官を隨へ既記の如く二十一日午前九時馬山出發午後九時大門驛著列車にて入京す

## ●王氏一行通過

日支交通聯絡會議第五回記念祝賀會に參列せる支那側委員交通次長王景特氏等一行は既記の如く二十一日朝南大門驛通過北行せり一同は奉天に下車同地官民の歡迎宴に臨みたる上北京に直行歸任の筈なり

## ●山形少將東京著

去る十二日朝家族同伴南大門驛發列車にて出發歸東の途に就きし山形閑少將は二十一日朝無事東京驛著の旨警務總監部に入電ありたり

## ●牧山氏選擧狀勢

長崎縣壹岐郡は政友會牧山耕藏氏及び憲政會荒川候補の根據地なるが決戰期近づくに從ひ大勢既に定まりて二十一日同郡投票開票の結果は牧山氏一千八十七荒川氏九十九の得票あり殆んど全郡を擧げて牧山氏の有に歸せしの觀あり右は只同氏地盤中の一部壹岐郡而已の得票數なり

## ●韓相龍氏歸京

支那視察中なりし漢城銀行專務韓相龍氏は副支配人韓[illegible]敎氏を從へ二十日夜八時五十分南大門驛著滿鮮急行列車にて歸京したり驛には李完用伯閔丙奭子其他貴紳紳縉有餘名の出迎ありたり

## ●御慰問使と軍

御慰問使內山侍從武官長は二十五日午前八時五十分入京すべき事既報の如くなるが當日著京の動軍にては儀仗、禮列、禮砲、伺候の諸式を行ふ可し

## ●鮮銀支店長會議

朝鮮銀行にては來る二十五日より朝鮮內地南北滿洲各地支店長出張所長等を本店に召集し會議を開催する由にて各支店出張所長等は遲くも二十四日迄に全部著京の筈なりと

## ●鳥貝採取好況

全羅南道管內にては從來鳥貝の漁事皆無なりしに本春初めて寶城郡沿海に於て其の棲息所を發見せしより忽ち四方に喧傳せられ昨今の如きは二百隻の漁船蝟集して漁業に從事し居れり而して採取せる鳥貝は剝肉後之を煮乾して大阪方面に移出しつゝあるが三月十八日現在に依る採取高四千四百二十頭を算し之を製造移出せる價額一萬七百十圓と註せらる從つて里民が剝肉、煮熟、乾燥等に從事し之に依りて得たる利潤鮮少ならず同地方は爲めに非常の活氣を呈し居れりと

## ●鮮銀支店長更迭

朝鮮銀行釜山支店長石井光雄氏は今回同行京城支店に轉任し本月末出發赴任の筈にて後任者は京城本店文書課長武安福男氏にして二十一日午前五時四十分著列車にて著任の筈なり(釜山)

## ●驚くべき進步
### 眞に隔世の感あり 王支那交通次長談

王支那交通次長[illegible]一行二十七名は[illegible]國間の[illegible]にて二十日午後八時釜山に入港[illegible]和田[illegible]の出迎[illegible]を受け上陸釜山鐵道ホテルに休憩の後同夜十一時[illegible]列車にて北上[illegible]

予等一行の後日に就きては鐵道院に於ても前例を見ざる特別連絡船を一行の乘用に回航せられしのみならず東京に於ける歡待の如き實に豫想の外にて

▲一行の感謝 措く能はざる處なり實は六七年目に東京に赴くとゝなりたるより舊知を訪ひ近狀を聞く可く期待し居たりしに著後官廳會社團體等の歡迎及び諸工場の觀覽に暇なきを努め最初期待したりし舊知の訪問は一も果し得ず然し日本に於ける總ての方面の進步發達は實際豫想の上に出で殊に予等の在東當時に比して天壤の差ありと云ふよりは寧ろ

▲隔世の感 ありと云ふを至當とすべく眞に一驚を喫したり殊に交通機關の整備せる實際を一覽して學ぶ所勘なからざりき隣國の上は貴國に倣ひて出來得る限り改善を計る考へなり東京を辭して横濱に赴き原氏の邸其他貴顯紳士の別莊等を巡覽したるが何れも構造の美庭園の結構只だ〳〵賞嘆する外なし歸途奈良及び京都を遊覽したるに一行は何れも日本

▲古代の建築 閑雅の風致に去るを惜み嚴島に立寄りては殿堂の宏壯、風景の美、熟々貴國ならでは見られぬものと思ひたりなど語る折柄釜山日報欄內に「鮮滿統一の實質」と題し鮮滿鐵道併合の第一步たる滿鮮總督府は奉天に設置することゝなるべく寺內伯は滿鮮總督として其任に衝らん云々とあるを見て

▲奇怪の顏色 を爲し滿鮮總督府を置く抔は何かの間違ならん關東州と朝鮮を結び付くることは事實必要にして或は實現し得るならんも滿洲は未だ日本の主權に非ざるにと一笑し滿鮮鐵道併合のことも予等は何等關係を有せざることなりと語れり(釜山)

## □團員より

大連行車中にて 朴宇鉉

[illegible]

忠魂碑 韓致奎

瀋陽一路荒遼陽。死得此真還不死。懷柔彈壓算非常。可惜內人爭不息。
日露當年戰百場。萬人心弔萬年香。一步關東國威長。大數係樂限吾友。

## 滿洲見聞錄(四)

奉天にて 西海生

### 奉天の諸問題(上)

▲色んな問題が奉天の財界にはある商業會議所の區域擴張支那側銀行發行紙幣の兌換制限撤廢信託會社の新市街設立、朝鮮人會の組織等は其の主なるものと見てよからう

▲會議所の區域擴張は當然風に起つて來ねばならぬ問題が、今日に至り漸く擡頭したとも見られる、乃ち從來の奉天商業會議所は奉天日本人商工業者全部の會議所でなく、奉天に於て領事館の區處を受くる城內雜居並に十間房居留日本人の一機關に過ぎなかつた乃ち滿鐵の行政下にある附屬地の新市街四千の同胞は何等會議所の組織並に其の事業と關與を有せなかつたのである、所が昨年來前便に報じたやうに色んな會社なども新市街に勃興しかかり、有力な內地人も段々殖ゑて行つて、どうしても商工業者の代表的機關たる商業會議所が必要だと云ふ事になつた

▲乃で附屬地側に現にある商業會議所の區域を新市街に擴張してはどうかと云ふ事が在奉天同胞有力者間の問題になつた結局幾多の議論と研究の結果奉天の會議所を部分的の會議所とせず全奉天日本人の會議所たらしむと云ふ意見は衆口一致した、唯問題は行政管轄區域等の關係上新會議所を滿鐵の行政下に置き同じて都督府の認可を受くべきものとするか、若くば從來の如く外務省系統に屬くかと云ふ事にあつた、そして之れは可なり面倒な問題であつた、然し結局する所外務省の認可を求め總領事の監督を受くべしと云ふに定まり目下其の手續中である、近く實現するであらう

▲支那側銀行の發行紙幣兌換制限撤廢と云ふ無闇に長たらしい問題は、標題の長いやうに其の問題も古い長い問題である、要領を摘んで云ふと斯うだ、奉天城內に於ける支那側六銀行の發行してゐる紙幣は約一千五百萬元から二千萬元の間にあるらしい、所が其等の紙幣は表面三分の一位正貨の準備整へるやう稱されてるに拘はらず、實際の所は仲々怪しい、兌換準備の頗る怪しい濫發紙幣が正貨に對比し下落するのは一向奇妙でない、一昨年來いつとなしに市場に於て所謂銀紙の差と云ふものを生じた、銀紙の差とは一圓の銀貨と一圓の紙幣は本來兌換準備さへ確立してゐれば同一價格であるべきに拘らず、紙幣は銀貨に比して若干安くそこに開きを生ずる事を云ふ、今日の所一圓に付紙幣は五錢位の下値となつてゐる

▲銀紙の差は利害の關係上當然紙幣所有者に兌換の念を起さする、斯くして奉天の日支人は六銀行に向ひ爭つて其の發行紙幣の兌換を要求する事となつた、然し支那側銀行は無制限兌換の準備が欠けてゐるのだから其の全部の要求には到底應ぜられぬ、應ずれば潰れる、で色んな理屈をこじつけ、否が官憲との間に數次の會商や屆を出したりした結果、制限的の兌換をすると云ふ事に極まつたのが一昨年[illegible]總領事時代である

▲爾來制限兌換は今日迄持續してゐる、其の兌換額は六銀行合計一週間四十八萬圓である、唯每日各銀行が兌換をやつてゐては大變な面倒だから、一週二日、六銀行共同兌換所を設け、其の求めに應じてゐる、何しろ一萬圓の紙幣を兌換すればそこに五十圓の差が出ると云ふのだから、兌換實行日には兌換所門前押すな〳〵の混雜で、一日の兌換要求額は又此頃では兌換實行額の十倍位ゐになるらしい、かうした收利に關する可否の論もアチコチに起つてゐるやうだが利益の前には區々の論議の如きは多くの効力はないかに見ゆる

▲所で日支官憲の取り極めによると來月の二十三日からは此の制限兌換撤廢、乃ち無制限兌換に[illegible]と云ふ順序に進み[illegible]も支那側銀行は[illegible]信ぜられない、又此の問題は表面に色んな關係上[illegible]過を辿つてゐる、殊に奉天の財界にとりては頗る興味ある又重大な問題である

## 【群山】

▲校長轉任 群山公立尋常高等小學校長山本吉久氏は今回京城龍山尋常高等小學校長に榮轉する事となり來る二十二日頃現任地を出發赴任の豫定なるが同氏の群山小學校長として任に臨んでより三年成績顯著なるもの多く生徒父兄其他一般官民の同氏の轉任を惜む者多く官民發起となり記念品を贈るべしと因に後任未定なるも實科高等女學校伊澤敎師校長事務を兼任し女校敎師の後任を得て伊澤氏校長に專任せらるべし▲旭琶會 群山筑前琵琶敎授所旭琶會主宮坂靜洋師は今回斯道に堪能なる故を以て福岡宗家より旭號を許され旭智と改めたるより旭琶會會員二十餘名發起となり披露琵琶演奏大會を二十一、二十二兩日間午後六時より明治座に於て開催すべしと

## 【大邱】

▲第二小學新築計畫 豫て計畫中の大邱公立第二小學校設立に關しては愈々二十日附認可申請書を提出せる筈なるが今其の內容を聞くに大和町及び京町筋以西に在住せる者の子弟を收容すべく本町に約三千坪の敷地を選定し建坪三百餘坪の新校舍を建築せんとするにありと

▲分會春季總會 大邱在鄕軍人分會は大邱上町なる同集會所に於て二十二日午前十時より春季總會を兼ね集會所落成式及び戰病歿者の招魂祭を擧行すべし▲青年會講演會 大邱青年會主催の第四回通俗講演會は二十一日午後八時より東城町なる日本基督敎會にて開催せられ農業工業に關し講師大邱公立農業學校長大西鬼三雄氏の講演ありたり▲畜犬稅賦課 大邱府に於ては一頭に付一圓の畜犬稅を賦課すべく[illegible]を以て直に之れが實施を見るに至るべし▲旅團長歸任 步兵第四十[illegible]旅團長金久保少將同司令部副官稻垣大尉は過般來管內各守備隊巡視中なりしが十九日午後四時五分大邱著列車にて歸任せり▲道長官歸任 [illegible]道長官鈴木隆氏は[illegible]一日歸任の筈

## 【馬山】

▲學校組合議員選擧 馬山府學校組合議員選擧は五月二十一日執行するに決し目下選擧人名簿の縱覽を爲さしめつゝあるが氣早の連中は早くも議員候補者たるを聲明し運動に著手せるものあり之れに對し或一派は今回の選擧には半數以上若手議員を當選せしめて組合會の刷新を圖らんと寄々凝議しつゝあれば期日の切迫と共に競爭[illegible]外激甚を呈するならんか而して目下候補者として已に運動に著手せるは堀內[illegible](舊)古賀公平(舊)の二氏にて其他は形勢觀望の中に在り新たに起つならんと思はるゝは[illegible]の西田喜一、[illegible]鐵二、三宅吉郎、植西頭次郎諸氏ならんか

## 人事消息

▲高橋樵三郎氏(平北內務部長) 二十日夜入京不知火へ
▲河本嘉[illegible]氏(慈山病院長) 二十日夜釜山より入京突瑚旅館へ
▲松永京畿道長官 二十日夜平澤より歸京
▲[illegible] 二十日夜金中里へ
▲柴崎鐵吉氏(京中校長) 十九日附忠淸南道へ出張を命ぜらる
▲國枝博氏(總督府技師) 二十日元山へ出張の序を以て鏡城に
▲[illegible]氏(總督府技師) 同日附仁川へ
▲木原小平氏([illegible]銀行支配人) 二十一日朝入京不知火へ
▲慶尙南道警務部長 二十一日朝退京
▲馬場法務局書記官 二十二日朝退京の筈
▲前田高等警察課長(憲兵大佐) 廿二日午前八時五十分南大門驛著歸任

# 忙しい奉天の兩替屋

## 二百餘軒の競爭＝日本銀行や鮮銀券は不廉い＝成功せる鮮人崔さんが語る

奉天城内の黄風を衝きつゝ私の東洋車が小西關の大街路に停つた時、私の尋ねる崔元植さんは街の錢莊（兩替屋）から顔を出した『よく來ましたね、まあお這入りなさい』これは鮮人の成功者崔さんの

**□流暢な日本語** である、唯見れば店の板には大きな一圓銀貨が商品見本よろしくの態でならんでゐる『商賣は如何』と訊けば崔さんはソロ〳〵奉天の兩替ばなしを説き出した、先づ此の袁世凱氏の頭をあらはした、一圓銀貨から伺はうといふと『それは支那人間で普通大頭錢と稱する銀貨で中華民國になつてから鑄造されたもの次に此の

**□大清銀行發行** の大洋錢と龍を彫つた北洋錢が主に通用します其の他銀貨には大洋錢の中にメキシコ銀、人洋錢、奉天大洋錢、吉林大洋錢等十數種のものがあり其の他二十錢の小洋錢もあります、ところが銀貨本位の支那では英京倫敦の銀塊相場によりて毎日刻々に相場の變動を來しますから銀貨は通貨と云はんよりも寧ろ

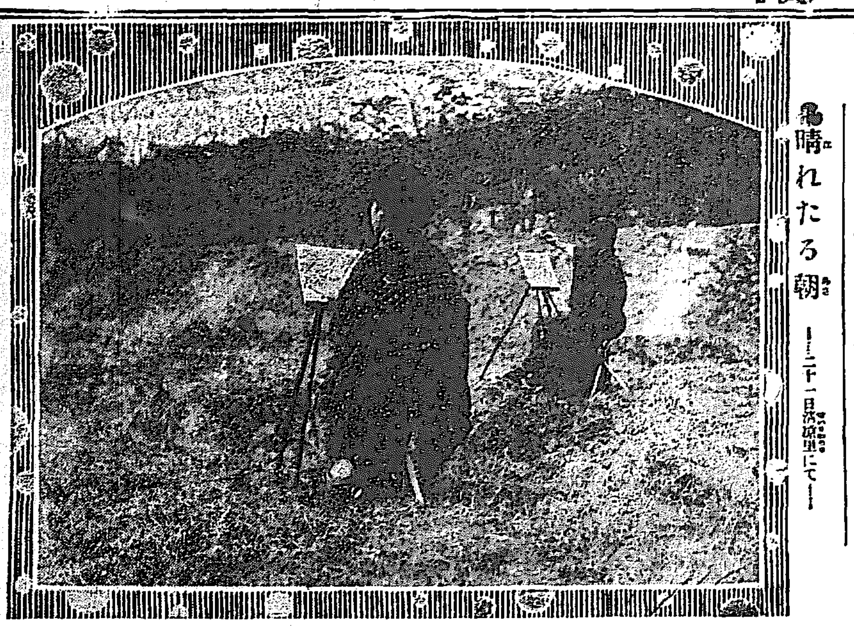
**□一つの商品** として取扱はれてある始末、即ち奉天市内二百餘軒に餘る錢莊の兩替屋は毎日相場の變動を見越して賣買をやるのです、つまり日本の米穀や株の取引とちつとも違ひません』といふ其處へ一人の支那人が來た、支那人は主人と算盤の珠を彈きながら『不行』と云ひつゝ出て行つた、あれは何んですといふと主人は輕記だといふ、チンチーは今銀貨や

**□紙幣の賣買** をともちに來たのである、次にまた奉天に通用する紙幣といふのが頗る面白く第一日本銀行や朝鮮銀行券ならば不廉いが支那の紙幣になるとズンと下つて日貨百圓に對し百八圓七十錢の割であるといふ、種類は東三省の紙幣を始め交通銀行、中國銀行等奉天省八銀行はもとより約十六種に餘る色さま〴〵、これがまた

**□毎日のやうに** 變動があるから日本紙幣は支那紙幣に兩替して買物する方が利益である、それにまた露西亞の留紙幣も取引されて露貨留に對し今は小洋錢の六十圓三十錢だとのこと昨年のドン底には四十九圓八十錢まで下落したといふ、兎に角混然雜雜たる姿は獨り城内の市街の人通りのみではない、通貨までが支那式である、崔さんは今年三十三歲以前興京縣や通化縣で

**□水田を經營し** たこともあるが馬賊は安全かといふとイヤどう致しましてなか〳〵險呑、毎夜六時となれば何處の兩替店でもみな扉を閉して了ふ、なぜなれば馬賊は悠然たる立派な紳士の姿態で店に來ていきなり拳銃を鼻の端につきつける街には巡警が居ても及びもつかぬ、その中に馬賊は店の者を縛し悠然として馬車に乘つて逃げて了ふといふ……猶崔さんの他には大北門内に嚴松洋行の嚴景發氏（三〇）といふのがあつて

**□これも兩替舖** をはじめ滿洲、西比利亞に輸出する朝鮮紙や海産物をも取扱ふといふとであつた、兎に角在滿の鮮人は著々堅實なる地點を占めて行きつゝあるとのこと（十七日午後奉天にて金谷生）



晴れたる朝 ―二十一日［illegible］里にて―

# 法主一行

## 滯京中の重なる日程　法主の親教は廿七日

二十五日朝を以て入京の筈なる東本願寺法主大谷光演師は午前八時五十分南大門驛着一と先づ滯錫中の旅館なる朝鮮ホテルに入り朝餐を認めたるのち

▽**總督官邸に** 長谷川總督を訪問なし午後より南山本願寺に於いて遠忌法要並に同別院の納骨堂供養會を營み午後六時半から別院に於て愛國婦人會、佛教婦人會、京城婦人會のために村上、南條兩博士の講演二十六日は午前中遠忌法要、午後四時半から京城高等女學校に於ける京城日報社主催の南條、村上兩博士の講演

▽**夜に入つて** は法主以下鐵道倶樂部に於ける講演會に臨み二十七日は本願寺に於いて法主の親教及び南條博士の複演あり二十八日は午前西大門監獄に教誨に赴むかれ午後二時四十分仁川に向けて出發さる豫定であるといふ、此の外病院及び軍隊訪問は未定なりといふ

# 本社主催 南北滿洲視察團

## ◇屋上庭園の歡迎會

### 滿鐵の招待＝大連市街を一望の下に

二十日視察團一行は朝より大連埠頭及び大連港を巡覽す先づ東埠頭は一千七十五萬噸の大貨物を容るべき大倉庫内の豆糟を見更に西埠頭にては

**▲湖岸に繫留** せる大汽船の荷役を見物す一行は又港内の雄觀を擅にすべく滿鐵小蒸汽にて第一波止場より東港口を一巡し上陸後は更に重要物産取引所より三泰油房の大工場を見る油房は滿洲名物の大豆油を搾り且

**▲豆糟を製造** するものにして大連市中の總數五十七あり盛況想ふべし午後よりは更に大和ホテルにて滿鐵招待の大午餐會あり會場は大連市街を一望の下に眺むべきホテルの屋上庭園にして燦々たる春光を浴びて一行は

**▲盛なる歡迎** の饗宴を受く實酣なる頃主人側よりは改野滿鐵理事起つて一場の挨拶を述べ之に對して阿部本社長の答辭あり午後三時散會後一同は自由行動にて市中を巡覽す廿一日朝は更に旅順に向ふべし（二十一日午前九時於大連幹部員金谷直發電）

# ●精米一萬俵の燒失

名古屋市東海倉庫分庫より二十日夜十一時出火し同倉庫及び保管中の精米一萬俵全部燒失し十二時鎮火せり（大阪特電）

# ●軍規保護法違反事件判決

舞鶴海軍兵器廠筆生前川建夫（二八）に係る軍規保護法違反事件は二十日懲役一年六ヶ月二個年執行猶豫の判決言渡しありたり（大阪特電）

# ●子を負ふて水死

馬山京町二丁目孔本福の妻千代（三二）は其實子なる富雄（三）を脊負ひし儘二十日悲慘なる水死を遂たり（馬山電）

# ●拳銃を懷中して活動見物

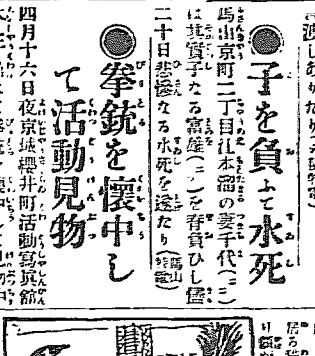
四月十六日夜京城櫻井町活動寫眞館大正館にて拳銃を懷中して見物中の怪しき内地人あるを本町警察署の刑事が探知し引致取調べの結果鳥取市鍛冶屋町生れ當時南大門通一丁目渡邊旅館止宿中の喜多井勇（三一）といひ件の拳銃は入質の目的にて其の筋の許可を受け若草町居住の上村しづより借受けたる旨申立てたるが同人は本月十四日同女より日本公債券三十五圓拂込みのもの一通を預りたるより直ちに黄金町三丁目なる日本公債株式會社朝鮮支部庶務係野口亮中に金十圓にて賣却して悉く酒色に消費したること判明し身柄は裁判所に送られたり

# □倭城臺の櫻

＝夜櫻の眺め一入＝

京城櫻名所の一に數へらる倭城臺櫻谷の吉野櫻は昨今滿開の見頃なるより總督府にては特に一般の爲めに開放して自由に觀覽せしめつゝあるが京城瓦斯電氣會社にては夜間同所に百燭光の電燈十數個を點じ夜櫻の眺め一入の見榮ゆあり道は古海學務總長官邸横より入れば右曲左折して櫻谷に出づべし

# ●朝寢坊狸、府廳の中庭で生擒らる



二十一日朝八時頃京城府廳の中庭をいつもの樣に小使が掃除して居ると南を受けた日當りのいゝ所を枕にして一匹の見慣れない獸が如何にも心地好さ相にうつら〳〵と居眠りをして居る猫にしては大き過ぎるし犬にしてはあまり顔が小さい、はて何だらうと忍び足に近寄つて物蔭からよく見ると、紛ふ方なき古狸だつたので、曲者の正體見届けたりと許り忽ち小使、給仕の非常召集をして、ヤア！計りに包圍した。驚いた古狸はスワ仕損じたりと必死の勇を奮つて一度は圍を衝いて逃げたが、何んせん白晝では變化の術を使ふ事も出來ず、とう〳〵捕へて大きな箱の中に押し込められたとはいくら陽氣の加減とは言へ呑氣な古狸もあつたもの哉

# ●劇藥自殺

仁川警察署管内北島面長峰島新村朴（三一）は夫李德賢が素行惡しく去る四月六日頃脅喝罪に依り入獄して以來は非常に悲觀し世間に對して申譯無しとて十七日午後六時頃家人の隙を窺つて洗濯用苛性曹達を多量に嚥下し苦悶し居たる處を實父に發見され直ちに仁川に來り治療を受けんとて船に搭じて十九日來仁外里なる叔父朴健植方に至りたるが同日遂に死亡したり（仁川）

# ●慈善茶菓會

京城露國總領事館に於て二十五日（水曜）午後四時より慈善的茶菓會を催ほす由

# ◁視察團より▷

## ▼營口見物

### 遼河の繁昌

△黒い苦力―自然の浚渫　△支那の海防艦―解氷期　△大きな戎克―交通　△南滿の花―邦人の勢力

◇十九日朝は營口見物、遼河は去る三月二十七日永き結氷期から覺めた營口の繁昌するのもこれから十一月までの間である

◇今の停車場は去る四十二年の年上流牛家屯から河畔の下手に下つて來た、後ろの倉庫からはすぐ遼河の河岸で下には大きな戎克が横づけになる、戎克にはまた黒い苦力がエンヤラサ〳〵＝遼河は冬期厚さ三尺以上も結氷する／氷上人馬の往來はもとより荷車も自在に通行が出來る結氷のお蔭で渤海灣から入る汽船の寄港も戎克の入港もピタリと止るがその代り水流が低き河床をなぐるから天然自然の河身浚渫が出來る譯、岸には石垣がなくて泥の堤を積むでゐる、これは水あたりが柔かくて案外によいとのこと、河には戎克の帆がゆる〳〵と去來する

◇視察團一行は午前八時滿鐵の東埠頭から小蒸汽に乘つた、小蒸汽は舳艫相銜みて流れを下る中にはアイゴー、『海よ！』と喚聲を發した人もあつて大笑ひ、遙かに奥の奥の蒙古の奥から押しながす濁流は滔々として渤海灣にそゝぐ（百年河清を待つ……）云々は、こんなところから出たものか

◇河の岸には大きな二三千噸の汽船がゐる、汽船は英國バターフキールド會社の寧波丸はじめ三隻居たが此の會社は支那沿岸に四十八隻の汽船を有つなか〳〵大きな會社だが今は戰爭でだいぶ衰微されたとのこと

◇折から紅艦を白く塗つた支那の海防艦が來た此の軍艦は千噸ばかりのチョコマンで支那の海軍の［illegible］

◇遼河の對岸は遼西の地、國外京奉線の北京に通ずる停車場は河北驛といひ河の向ふに大きな建物が見ゐる、北京までは汽車で約十九時間山海關で京奉線と連絡する

◇春の解氷期になると一時對岸との交通が絶えて氷上でも駄目となることがある、こんな時には僅々半里足らずの對岸へ送る小包が遙かに奉天から京奉線を迂回して河北驛へ到着するといふ［illegible］はこうなつてはたまらぬ

◇滿鐵と國外線とをつなぐ遼河の聯絡船は支那側の經營であつて二階二本煙突の小蒸汽が横斷して往來する

◇營口の最も繁昌な街は老爺廟通りであるが街路には横に巨石をならべ凸凹の甚だしいところ鳥渡長崎の街に似てゐる、工業は例の大豆油と豆粕を製造する油房があつてその中巨きいのが東永茂と西義順此の二人は營口で非常な勢力家である

◇河には戎克の役に渤海に行つて來ましたといふやうな大戎克がある、これは主に福建省あたりから來て竹類を移入する、江岸に二三の夾竹桃の株が陸あげされてゐたが南滿の花が滿洲へ來たと思ふと面白い

◇河の向ふは遼西の天地である、古來漢族から起つた北方の強は此の遼西平野を攻略すると共に一擧に南の方燕京を衝くのが例であつた

◇遼西に於ける邦人の勢力はまだ微々たるものなれど三十里彼方の錦州では現に三百人の在留者が出來た、更に錦州に近き蒙古の赤峯には最近二月廿九日日本領事館が開設された、在留邦人は三十人居る。（十八日營口にて金谷生）

# 讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▽一口噺『其時々の事』

○火災報知の電話を掛けた男『火事ダー火事ダー』新參交換手『何番何番』其男『エ一三番だ一三つ番だ』（二等）　龍山龜吉道行内　茶加平

▲此頃内地では選擧運動の爲め饒舌家の寡り年だと云ふ話を見た幸三『家の嬶も一寸内地へ遣らうかナ』　京城　田尻菊子

▲毎年ビールの代りに番茶で花見をして居た伊勢屋ビールの値上と聞て『じやー今年からは水で濟まさう』　龍山　小草子

▲鮎者『鮭が百四十錢にも賣れるさうだ』奥太『ヤアメ選擧運動に使ふカイ』　龍山　三宅生

# ○産婆看護婦試驗

京畿道にては來る六月四日産婆看護婦志願者に對し學説試驗を執行し合格者には［illegible］得らるべしと府令産婆看護婦試驗規則及び京畿道産婆試驗施行手續等の各條項を心得らるべしと

昨年五月中旬平壤室田松次郎所有の幸町空家に忍入り硝子板三十三枚價格十圓のものを竊取し本年二月十［illegible］商に賣付けんとする處を平壤署の中村刑事に取押へられ取調べの上四月十九日午後地方檢事局送り（平壤）

［illegible］圓餘なりしと

# ●遞給船上陸客

二十日午前［illegible］

一等（三名）［illegible］　二等（十七名）［illegible］　三田中榮、中川千吉、同ふじ、同みつね、同巖、同清、同道三、松本萬人郎、同きく、同はみ子、和田彌五郎、峰みれ、同あき、同つる、宮内［illegible］、野田健二郎、同きみ、田村市次郎、佐藤［illegible］太郎、田中［illegible］

# 天氣 晴れ時々曇り

四月廿二日（廿一日午後六時［illegible］）

# 商況

## 東京公債直取引（二十一日前場）

［illegible］　八二、一〇　九七、三〇

## 深川在米特電

二十一日現在高　二〇六、四二六　七一、七一五　一、七一四、二六一

## 東京期米特電

二十一日前場　五月限　七、三九　七、三九　七、〇九　七、〇九

## 大阪株式

二十日後場　日本郵船十二圓同新株式十圓本株九十圓大株八圓高

| 銘柄 | 拂込 | 前場 | 後場 |
|---|---|---|---|
| 宇治川水電 | [illegible] | | |
| 京阪電鐵 | [illegible] | | |
| 東洋紡績 | [illegible] | | |
| 台灣紡織 | [illegible] | | |
| 鐘淵紡績 | [illegible] | | |
| 同上新株 | [illegible] | | |
| 東洋製糖 | [illegible] | [illegible] | |
| 大阪商船 | [illegible] | [illegible] | |
| 日本郵船 | [illegible] | [illegible] | |
| 同上新株 | [illegible] | [illegible] | |
| 安島米穀 | [illegible] | [illegible] | |
| 東京新株 | [illegible] | | |
| 大阪株式 | [illegible] | [illegible] | |

## 大阪三品特電

## 大阪期米特電

二十日後場　寄付　止め

| 限月 | 寄付 | 止め |
|---|---|---|
| 四月限 | 二〇、一五〇 | 二〇、八〇 |
| 五月限 | 一九、六四〇 | |
| 六月限 | 一九、四四〇 | |
| 七月限 | 一九、二〇〇 | 一九、二〇〇 |
| 八月限 | 一九、〇三〇 | 一九、〇七〇 |
| 九月限 | 一九、〇〇〇 | 一九、〇〇〇 |

## 下關期米特電

二十一日前場　寄付　中限一六、〇五一、先限一六、〇四　止め

## 雜報

二十一日前場　晴天　寄付　安値　止め　［illegible］

●滿洲銀と大豆高　［illegible］

●大豆又騰貴　二十錢方暴騰　［illegible］

●北海小豆大暴騰　遂に十一圓臺に達し實に三百五十丁　［illegible］

●鉱力板又暴騰　大阪四圓高の入電　十八圓と云ふ空前の高値を唱へらる　［illegible］

●粗布値上げ　［illegible］粗布忽ち一二［illegible］

●產地出越說　［illegible］

●一時米の姿を隱す　時期の來る迄再び出穀多き謂　［illegible］

●白米値上げ　最低十五圓三十錢を唱へ　五厘方引上げ小賣値十一［illegible］

●板硝子の昨今　［illegible］

●圓方を引上げ　八十六圓の新値發表　［illegible］

●品一掃仕盡し建値勵行を期す　小商人の持［illegible］

●洋釘騰貴す　五十錢方騰貴　［illegible］

●滿洲粟漸騰　三十錢方の高値　［illegible］

●正米益々強硬　［illegible］

當迄取引三錢八厘見　二十錢高　［illegible］

●格落ち品程に割　［illegible］

●高を呈しつゝある米價　［illegible］

●辛果輸出不成績　［illegible］

●賣込み競爭行はれ　［illegible］

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　電話［illegible］

要を促進せしめつゝあり本邦製品の需要内需要の大部分　鮮内需要の大部分　京釜沿線地方等には仁川釜山筋の［illegible］

# 南大門の廻穀

［illegible］

# 仁川現物市場

［illegible］

# 釜山穀物（二十日）

▲正米（十錢高）［illegible］

# 生魚市場（日乃丸市場）

［illegible］

# 仁川期米

▲二十一日前場　大阪前寄十七圓〇四錢昨止より二錢高の入電［illegible］錢の移［illegible］十七圓丁度六十六圓九十五錢安［illegible］

▲依然保合　［illegible］

# 市場零聞

▲前場の手振　［illegible］

▲新材料待ち　［illegible］勢を報じたるに反對に不［illegible］

▲種々な材料湧出　隨て人氣も動搖［illegible］

▲構へ買募り麥作悲觀を氣［illegible］

▲期米強弱觀　［illegible］

豫期も日元に正米崩れ　［illegible］

米價の大勢　［illegible］

仁川米豆取引所　二十一日の六月限

| 前場 | | 平均値段 | |
|---|---|---|---|
| 寄付 | 十三圓七錢 | 一節 | 十三圓七錢 |
| 止め | 十三圓四錢 | 二節 | 十三圓六錢 |
| 高値 | 十三圓八錢 | 三節 | 十三圓五錢 |
| 安値 | 十三圓三錢 | 四節 | 十三圓四錢 |
| 出來 | 七千五百石 | 五節 | 十三圓四錢 |

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店　仁川海岸町三丁目　電話［illegible］

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　海岸町三丁目　電三〇九四九二三

# ●最初の一分間

—水管自動車の寄附に就て—

京畿道警務部長談

京城常備消防隊が或る會社の所有たる水管自動車を試驗的に使用し其の成績の良好なるとは時々新聞紙上に報せられた事であるが此の度朝鮮銀行を始め其の他の重なる銀行、會社個人等共同して三千三百餘圓を醵金し自動車を買收の上警務部に寄附を申出られたることは誠に感謝に堪へぬ義本寄附に關して京城府尹同商業會議所第一銀行西村氏及び京城日報社等が多大の斡旋盡力せられたることを併せて深謝する次第である。昔から戰爭は最後の五分間に在ると云ふが消防は最初の一分間が大切である如何に財政が豐富で

▲百毫の喞筒を備へた處でも地の利や水利の關係があるから一寸に之を使用されるものでもなく又數百戶千戶の擴大した火災に對しては日本の筒先も燒石に水である先年東京、大阪の大火の如きも水で消したのではなく空地、防火壁又は容易に破壞されたる家屋の附近等地理、家屋の關係上消ゆべき所に於て消ねて居る要するに大火災に對せる消防設備の完成と云ふことは殆んど不可能の事で消防としては大火災にせぬ準備を爲なければならぬ所謂火事を

▲卵の中に消すのが消防の理想であるそれには第一消防手の訓練は勿論望樓、火災報知機等速かに出火を認知する方法設備が必要であるこれと相須て最も緊要なるは消防器具の輕便と其の速力とである馬車蒸汽喞筒は馬裝に二分內外を要し有効蒸汽の發生に七分を要す又輓馬に對して快速力は望み難きものであれば斯る重苦しい機械は今は消防の理想に副はぬものとなつた今日にだける

▲歐米都市 消防具は皆自動車式である喞筒車、輸送車は勿論梯子も自動車に備へ負傷者を收容する救急車も自動車で喞筒機其の他是等機械の各部を操縦運轉するにも電氣又はガソリン發動機を用ひて居る所謂最初の一分間に對して全力を注いで居る水管自動車なるもの、効果は使はぬ先から豫想されて居たのであるが嚴寒氣に對する發動機の諧調、故障等の狀態を知りたかつた爲待に嚴寒と火災季とを擇んで昨年十二月十六日南大門消防所で試用したのであるが來三月末日に至る迄で出火百十五度の內出動すること百三回で未だ一回も行進に故障を起したることなく消防に就ても毎回顯著なる効果を認めて居る今火災の一、二に就て例示すれば一月二十八日黃金町二丁目東洋拓殖會社構內附屬舍の火災は當時

▲水管自動車が今三四分間到着後れたらんには倉庫の延燒は防止することが出來なかつたであらう二月五日本町四丁目カルヽス温泉が半燒で濟んだのも自動車隊の加勢が速かつたからである最近四月五日永樂町宮廷居の火災は南山町黃金町の兩消防隊並に京城消防組など各其の最寄であつたから自動車は先著とは行かなかつたが後援に加はることが速かつた爲め當初の猛火も一旦に終熄し罹災家人は鎭火後其の燒け殘の一部に當夜を過し得たのである（つゞく）

●工藤武城氏母堂 京城婦人病院長工藤武城母堂光子刀自は病氣中のところ二十日午後九時藥石効なく卒去されたり葬儀は二十五日午後九時若草町曹洞宗別院に於て執行の筈

## 【神社とお寺と教會】

○曹洞宗別院（若草町） 二十二日午前八時より護法會例會

○開敎院（若草町） 二十一日より二十五日まで午後二時、同八時より明照大師七百六年御忌法要執行說敎は朝鮮開敎區理事吉村立彰師、大阿義瑞師、猶は二十五日は午後より甘茶接待ある由

○神理敎會所（南山町三） 二十二日午前八時月次祭祭典執行式後講話あり

○本能寺（本願寺） 廿二日午後八時[illegible]講話說敎あり

○聖公會（南米倉町） 二十二日午前九時三十分聖餐式執行一色司祭信徒按手說敎トロロプ主敎午後一時日曜學校午後七時三十分晩禱傳道說敎「救靈者」一色司祭

○龍山日本基督敎會 廿二日午前九時日曜學校同十時禮拜說敎「救世の最大使命」午後七時傳道說敎「猶壯的精神の所產」伊藤牧師

○京城日本基督敎會（長谷川町） 二十二日午前九時より日曜學校同十時「ペテロの復活」井口牧師午後八時「信者の幸福」同牧師

○メソヂスト敎會（旭町二）二十二日（日曜）午後八時より同敎會堂に於てヘンデル氏作のハレルヤ、コーラスを內外婦人五十人餘にて合唱をなす由

○救世軍集會 二十一日（土曜）午後七時四十分百三十銀行前にて「飲酒と閑話」石島大尉二十二日「日曜」午前十時半永樂町屋內にて「特別會」シルベスター少校說敎同八時十五分「題未定」石島大尉

○メソヂスト敎會（旭町二）二十二日午前九時十五分日曜學校同十時三十分禮拜說敎「春の敎訓」藤岡牧師午後八時詩美禮拜ハレルヤ、コーラス

○京城基督敎會（南米倉町） 二十二日午前十時「解者の勝利」山本牧師午後八時傳道說敎

# ♣美しい瞳を持つた朝鮮の子供

閨秀畫家栗原玉葉女史談

閨秀畫家栗原玉葉女史を南米倉町に訪ふ東道の玉葉女史は語つて曰く

恰度十六日の朝此方へ參りました海が荒れました釜山へ著きました頃は春雨が降り注いで淡いコバルトに塗られた四方の山は如何にもなだらかな感を與へましたそれに鮮人の白い著物の中を

◆紺の蛇の目が浮いて行く風情を見ては耐らなくなつかしい感じが起りました……それから汽車の窓などから覗きますと山の裾近く臥牛の樣な家の間から白い著物の見ゆる等も何だか面白う御座いますね風景畫ですかさつぱり駄目でしつて不折式の技でもあつたらと思ふんですが

◆氣候ですか 此方は釜山等より一ケ月も遲れると聞いて居ましたがそんなでもない樣ですねこうして居ますと東京邊りと大して變つた心地も致しません、そうです此度

◆こちらへ參りましたのは始め木浦に親類がありましたが急に轉勤する事に成りましたので……勿論何か畫材を捉へ度いとは存じて居ます殊に朝鮮純粹の上流婦人の風俗と純粹な下流婦人風俗とを畫いて見たら其所に何か知ら

◆面白い對照を見出す事が出來樣かと思つて居ます兎角出來る丈は畫いて見る積りなんですそれから學校等へ見物に參りますと鮮人の少女達はどの女もどの女も額が廣くて黝然として愛らしい顏をしてますそれに一重まぶたの人が多くて其の奥には涼しい水晶の樣な眸を持つて居ます車で通る途すがらも服裝は汚いがそれは愛らしい目を持つた子が居まして何度も振り返つて見ました實際あの

◆黑水晶の樣な目は深い印象を殘してどうしても忘れる事が出來ないんで御座いますよ服裝ですか朝鮮の婦人には相應しい感があります あれを見ると何だか斯う

◆天平時代の悠暢な風俗が偲ばれる樣で御座います殊にあの淡白した水色や黃色の色彩は恰度今頃の自然其の物の色彩に合致した樣で鮮かな感を與へますと女史が黑い眸を輝せらるゝ窓外――其所には春の夕陽を浴びて青い柳の芽と鵝色の躑躅とそして黃色い連翹とが將に春酣けんとする自然の色彩を象徵して一入鮮かであつた、因に女史は來月初旬頃迄滯在の豫定だ相である

---

[illegible]にして同日は午前九時より道廳に於て執行すべき豫定なりと因に受驗者[illegible]

[illegible]は昨年四月二十九日平壤地方法院に於て窃盜罪により處分を受けたる前科者なるが[illegible]枚代金五圓のものを窃取し三月十六日片倉組所有港町全家に於て硝子板三十六枚價八圓のものを窃取し古物[illegible]

[illegible]商店木炭箱より雇人の不注意に依り十九日午後十一時四十五分頃火を失し約五分の後消止めたるが損害二十[illegible]

[illegible]同齒子、同新子、同喜子、同松子、同孝子、同雅男、同三造、山崎正、李梅子、同文子、同せつ、中島はる、原田つる、岩村すみ、矢部久雄、桑原勇太郎、作中政一、萩原政[illegible]

[illegible]日野西長輝、田中晃登 三等（三百三十七名）

二十日午後釜山入港壹岐丸一二等客[illegible]


●花見と胃

花を見て樂しく辨當を召し食れば胃の消化を良くする所の神經的作用があります餘り飲み過ぎ喰ひ過ぎては、二日醉食傷等にて胃腸を害することがあります、斯る場合には健胃劑の合誠製藥評判の「胃活」を御用ひあれ

胃病良藥 胃活

定價 胃活（一圓、六十五錢、四十五錢）

請賣全國藥種商及賣藥所各藥店にあり

本舖 東京・大阪 山田安民藥房

てんかん ヒキツケ

困難の方は直ちに手三錢切手送れ永年の病いも自宅でなをす最善の良劑を知らせる

名古屋市中區南小川町 教生館

子宮病 血の道と せんきリウマチスに 腦む人は直ぐ試よ 面白い程よくきく

家庭の 神仙湯

寫眞機 寫眞材料

京城府明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二〇番

最新高等かぜねつ良劑

キナピリン

本舖 大阪市東區 高橋盛大堂藥局

眼科專門 京城本町四丁目カルヽス温泉横（電一五五六） 日曜祭日午前中

金井眼科醫院 金井豊七

榮養ヲ增進シ精力ヲ旺盛ニス

グリコナール錠

本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ノ適量ヲ含有ス

一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス

百錠金壹圓 各藥舖ニ有リ 說明書進呈ス

東京室町 三共株式會社

各種萬年筆即時修繕

京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

宮內省御用達

三ツ矢 平野水 サイダー オレンジ

發賣元 帝國鑛泉株式會社

牛耳洞觀櫻自働車運轉開始

臨時 花見乘合運轉開始

來る自廿五日至五月八日

每日前八時より三時間每に一往復

一人片道 賃金壹圓 同往復 賃金貳圓

貸切七人乘 往復賃拾貳圓 片道賃金六圓

花の名所は 牛耳洞

櫻眞盛り 山つゝじ

憂世離れし 別天地

京城忠州間 水原麗州間 每日運轉

京城黃金町一丁目

京南自働車商會 京城事務所 （電話一六四〇番）

醇良無双清酒

菊薫

無害衛生 品質無双

醸造元 福岡縣島城町 首藤合名會社

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 電話一七一一番

釜山港幸町 首藤釜山支店 電話三四三番

內科 小兒科 入院隨意

京城府龍山元町 柴野醫院 電話二〇四番

光が白くて氣持のよい 素敵な丈夫 マツダランプ

オヤ まるで家が[illegible]やうだ!!!

東京電氣株式會社 門司出張所 門司市西本町三ノ二 電話長八二九

福岡出張所 福岡市下店屋町 電話二一一六

同

化學的に皮膚を強く美しくする 鶴の卵石鹸は價格低廉にして實用第一也

特約販賣店

京城南大門通り一丁目 五福商店

同明治町二丁目 月本商店

釜山大廳町 明治屋商店

平壤大和町 廣島商店

純良石鹸 鶴の卵

本舖 東京馬喰町 淺井文店

新案特許三六二九八號

タイヨー萬年毛筆（特價六十四錢）

本品が從來有り觸れたるものと異り頗る精巧無比、構造堅牢にして永く使用に耐ゆる事は既に定評あり、穗首の取換自在なれば實用に適し且つ經濟なり尚普通の毛筆より高尚優美にして一度墨汁（開明墨）を入るれば端書三百枚迄は書き得るを以て携帶用として亦事務用として頗る便利也旅行家外勤家には最も欠く可らざる必要品なれば是非一度御試用あれ

▲替穗壹個金八錢 ▲スクリツプ壹個金五錢

△團體若しくは合同にて一打以上御求の方は特に割引の御需に應ず

●發賣所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

ダンス化粧液

鳥を鷺に黑人を白皙人に化する程の即効はなくとも天賦の容姿に一層の美艶を添ゆる事は誓つて保證致します

○京城各地小間物化粧品店にあり

定價 大瓶五十錢 小瓶二十錢

京城明治町 代理店 月本商店

發賣元 東京馬喰町三ノ六 荻村彌三郎商店


工藤光子事病氣の處本日午後九時永眠候間此段御通知申上候

追て葬儀は四月二十五日午後四時半若草町曹洞宗別院に於て瑞巖老師導師の下に執行仕候

大正六年四月二十日

男 工藤武城

男 工藤忠輔

男 工藤重雄

# 明君道中記

第百二十二 席田邊南龍口演

植木藤右衛門は我が娘の遺書を見て 藤『あゝ能くも此の事を書き遺して自害をした天晴な奴じや、此の遺書を證據にして訴へ出で將軍樣の御命を御助け申し上げ、決して犬死にはさせんぞ、始めから大工與三郎と密通をして居ることは知つて居た、なれども親孝行の與三郎故れ〴〵はお前と夫婦にしてやらうと見ぬ態をして居たが、此の[illegible]が許して夫婦にする、冥途でやらにて與三郎と仲能く暮せ、俺もおつつけ跡から行くほどに其時舒つて親子の對面ないたさうぞ、云ひ譯無さに死んだのなら此の上の不孝は無いが、能くも此の遺書を證據にして訴出で將軍樣のお命を助けてくれと書き遺した、それでこそ藤右衛門の娘天晴賞めて遣はすぞ』それの遺書に添へて一通の願書を認め支度をして二通を懐中に入れ奥から飛出して表へ出やうとする、下女のおしまはこれを見て吃驚して しま『旦那樣マア待つて下さい何うしてお嬢樣は死んだのでございますか 藤『お前の給仕の爲やうが悪いと云つて娘は腹を立て死んだのだ しま『妾のお給仕の爲やうが悪いと云つて御腹を立て御自害を爲すつたのですか 藤『ウン然うだ しま『そんなら然うと早く被仰つて下されば宜いものを 藤『エー八釜敷い』と表へ飛出すからおしまは大聲を揚げて人を呼ぶ

下男が其の聲に驚けて來た 男『ヤア嬢樣が自害をしたと、何で死んだのでございます 藤『コレ手前が飯の焚きやうが悪いので娘が自害をしたのだから貴樣が殺したも同樣だ』と飛びかゝつて下男の横面を強かに打つたからアツと云つて顛仆る間にバタ〳〵と飛出した 男『ソレ大變だ旦那樣が氣が狂つた、御近所の人來て下せえ』近所の人は驚いて集つて來た、植木の旦那が氣が狂つた川へでも飛び込むと大變だ早くお止め申さなければならないと大勢跡からバラ〳〵追蒐け來ました藤右衛門は後をも見ず走つて古池の傍まで參りました、すると幸ひその傍に大きな石がございましたから其を取つてドブンと池の中へ投込んで其の身は物影へ隠れてしまつた、追つて來た人々は今の音を聞きそれに藤右衛門の姿が見えませんからさう〳〵植木の旦那お池へ飛込んでしまつた、何うにかしてお助け申したいが此の池へ飛込んでは迚も助かる氣遣ひはない洵に氣の毒なことをした、然し死骸なりとも引上げたいものと池の周圍を取巻いて相談をして居る、此方は藤右衛門人の油斷を見て右の所を立出で藪の中に入り竹を切て三尺に切詰め竹の尖を割つて二通を挾み、それを持つて雀の宮の殿を指して蒐けて參ります、やう〳〵のことで往來へ出て見ると、近郷近在より集つたる人な雲霞の如く却々前へは出られませんが藤右衛門は一生懸命前へ出やうとして人を揆分け 藤『少々御免老人のこと故、前へ出して下さい。

○『何だ今時分來て前へ出してくれとは、前へ出たければもつと早く來るが宜い、俺などは夜の明けない内から來て居るのだ』とポカリ頭を撲つたから 藤『あゝ痛い、何うか勘辨をして…… ○『ヤー誰かと思つたら鹽谷村の植木大盡ではございませんか 藤『オー其方は新田の茂十ぢやんであつたか 茂『貴下と知らねばで頭を撲つて濟ねへことをしました、さア前へお出なせえ 藤『コレは有難う、何うか前へ出しておくれ 茂『ヤイ其處に居る丈の高い奴、鹽谷村の旦那樣がお出なすつたから汝は其方へ除いて旦那樣を其處へ出して上げろ、 ○『さア〳〵此方へお出なさい』と流石は植木大盡のことでございますから皆々除けて前へ出してくれました、藤右衛門は前へ出て將軍家のお成りを今か〳〵と待受けて居ります。

無病長壽を希ふ人ありや
然して津村兄弟商會の
人蔘エキスを
知らざる人あらや人蔘エキスに
親しまる方は一生健全也
京城本町一丁目 電話一四八〇
津村兄弟商會

中央試驗所分析證明
■常用又は藥用として■
■風味佳釀の如き■
朝鮮人蔘酒
■好評湧くが如き■
■土産又は贈答として■
京城明治町
小田商會 電話二〇九四番

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剥製調進販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剥製標本
京城本町二丁目
樽元商行
電話長二〇六五番 振替京城二四九九番

## 三

四月廿三日 九星
舊閏三月三日 乙未
本命八白 且定 大安

▲八白● 押のきかぬ事有る日新事見合東方に吉縁談良 ▲九紫● 係嗣の日轉居入學命件名引探鑛求職婚姻紹介業等皆吉▲一白● 物にならぬ所有日新事手始悔事は吉紹介仲人等せぬがよし▲二黒● 怒は禍の本事有る日新事手控待事皆禍は妨なし▲三碧● 兄弟姉に關くの日新事手控貢と雖も新事控目の方吉葬事出醫は妨なし▲四緑● 不測の日事は吉行儀作法を守らるべし▲五黄● [illegible]敬後主義の事有る日萬親切にせらるべし▲六白● 用意周到の日轉居旅行入學名弘求職棟上命騎築を始むる等萬吉▲七赤● 都合よき日轉居行動入學名弘み件求職都鏟井戸掘等萬吉

無臭 ヨードホルム膏
梅毒下疳横痃切疵腫物痔疾等の良藥
本舗 大阪東區瓦町 中井馬鑑製
定價 五錢 拾錢

內科 外科 小兒科 花柳病科
入院隨意
京城長谷川町
安東病院
電話七三番

## 演藝案内

**有樂館** 早川演藝部直營 電話一二〇〇番
四月十九日より提供の封切特選大寫眞
[illegible]
▲泰西活悲劇「死の陰」 全三卷
▲舞ひ扇 全三卷
▲不家の忠臣七兵衞景清一代記 全五卷
[illegible]

**壽館** 京城壽町 電話一〇〇三番
四月廿二日晝（初日）
[illegible]

**黄金館** 電話二三七六 六〇二
[illegible]

**御成座** 御成町 電話二九一
新派 眞劍部 三郎一行
一、血涙 全五場
二、喜劇 パッピリー 全二場
[illegible]

**大正館** 櫻井町 電話八七三
四月二十日より特別大興行
▲劇「井上大九郎」 全三卷
▲新派悲劇「不如歸」 全三卷
[illegible]

**浪花館** 明治町 電話二六〇
▲女傑吉田奈良女一行
大阪親友派幹部
特別出演者 廣澤虎春
佐藤入城（奈良）西郷隆盛（太和）箱
崎文雄（二笑）ナポレオン（奈良）長村
上政雄（虎男）江戸の花、景清誠
二席（虎春）雪の曙、明石騒動（奈良女）

**壽座** 京城壽町 電話五七八番
今様能楽 家元紫泉會
四月二十二日、七日目能（午後六時開演）
▲朧 泉松代 大村榮治 小林東平 淺田龍三
▲藤戸 泉新三郎 大村榮治 小林東平 淺田龍三
▲道成寺 泉佐藤三郎 大村榮治 小林東平 菱田龍三
▲橋辨慶 泉松代 泉薦郎 小林東平 多田喜市郎
延管▲梟 取角力 生月俊 ▲寢音山 泉新三郎
▲角水鉀 泉新三郎 ▲附祝言
十八人以上團體及五回以上回數券は特に二割引
一等金七十錢 三等金五十錢

新派三大悲劇中の一隨
德富蘆花先生不朽の大作
『不如歸』劇
日活會社五ケ年計畫大成功
新に完成せる未聞の大寫眞
廿日上場 大正館

紳士の朝
（第一に）……効力五倍以上のクラブ歯磨で歯を上下左右に磨き
（第二に）……舶來石鹸よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉でお顔をお洗ひになり
（第三に）……鬚剃の後ならば一番よくきくアレ止め美身劑クラブ美身ゼリー又はクラブ美身クリームを塗つて剃刀負けを防ぎ
（第四に）……有效第一の美髪用ふけとり香水クラブキニーネ香水を頭髪に振懸けて指先で能く擦込み
（第五に）……舶來品以上の美髪用煉香油クラブポマードを掌で伸ばして頭髪に付けブラシで万遍なく梳き
（第六に）……好評第一のクラブチックを付けて櫛をお入れになれば思ひの儘に手際よく髪が分かります
お顔には
頭髪には

君が代
志らが染
志らが染一君が代
品質も
評判も賣行も一番よい
何が故に一番よいか
▼染方至て簡單三十分間に染る
▼毛質を損せず
▼臭氣なし
▼染色長く變ず
本品は到る處の藥房化粧品店にあり
定價 特製 大 四十五錢
小 二十錢
本舗 京城府 山吉商店
關西代理店 大阪 伊藤朝日堂

ダリヤ、カンナ
カタログ無代進呈
京城西大門外竹添町二丁目
東京 千草園分園

富の道しるべ
▲山縣五十雄 村上唯吉共著
價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替二〇〇番 京城日報社代理部

りん病
急性慢性を問はず博士發見の最新藥配合の淋病撲滅を一週間十日分一圓九十錢なり七日分は一圓十四錢送料本藥は他店に御座なく直接本舗に御注文あれ
京城黄金町三丁目電話三二七番
山田文來堂藥房

大正わらじ大發賣
實用新案登録
普通のわらじの十倍つよくてはき心地能くてていさい能くて足が輕くて汽車の先きも決してじまんではない一足見本を取り御試みあるべし
▲一足定價一足五錢見本郵稅共一足十錢
一綑三百足入にして三百足以上一足に付三錢◉内地の汽車ある所は運賃當店持ち
質問門司幸町八丁目振幅七一二番
各種用石鹸製造
園草鞋問屋 ㊁わらじや

京城本町三丁目
増田本店
電話長一〇九六

解傭廣告
店員 巽 鶴松
右の者今般都合に依り解傭仕候に付自今弊店と何等關係無之候間此段廣告候也
大正六年四月十九日
仁川 福西製粉所

男の生殖器病
生殖器發育不完全、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、淋病の宿疾、並に神經衰弱、手淫其他房事過度に依る諸症の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力現はれ豫想外の治效に驚くべし知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の禮狀山積す
あれ醫入說明書を無代進呈す來所者には医院部にて懇切説明す
本器は博士數名の實驗卓絶なる證明を有す
東京神田區小川町九
電話神田七二二番
東京 眞空療法研究所

銚子港 田中玄蕃醸造
ヒゲタ醤油
代理店 山邑京城支店
京城明治町一丁目
電話八四九番 振替貯金京城七五番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七二九番

京城日報

第三版 下關期米特電

[illegible]

# 京城講壇

## 次の世界戰亂と科學
### 努力せよ日本人は獨逸人に劣らず

理學博士 三宅驥一

近代文明、思想及び國際均勢上に一轉化を將來すべき世界の大戰亂も最早三箇年の歳月を閲し、而かも未だ勝負の決を見るに至らざるのは畢竟獨逸の強、聯合數箇強國に匹敵して餘りあるからである。此の三箇年間に於て聯合國は有ゆる一切の手段を盡し獨逸を擊破すべく努力して居るが、其の驚くべき偉大なる計畫も幾百萬生靈の犧牲も豫期した程の効果を奏せず獨逸は依然として重圍の間に儼立し八面六臂の勇を揮て居る。今や全世界の人類に獨逸に對する感情の好惡に拘らず獨逸の力を驚歎し其の強聯合國の何れの國よりも遙かに超越して居る事を承認するに至つた。聯合國側は屢々獨逸の疲弊困憊將に自から倒れんとするが如く傳へれども、獨逸の疲弊と困苦とは否交戰國の何れにも大差なく彼は相變らず其の健鬪を繼續して居る。實に獨逸の示したる強さは一つの奇蹟と稱すべきである。此の奇蹟的強剛の原因は實に之れを彼の國の化學の進歩應用に歸せざるべからず。即ち科學の應用を離れて個人として獨逸人を見れば必ずしも彼が如き強勇者でなく寧ろ我日本人の方が遙かに勇氣を有て居るし、又露國人或は土耳古人などに比しても其の膽力は劣つて居る。然れども近世戰場に於ける個人的武勇は兵器の進歩に伴ひ漸々其の効果を失ふに至り、化學の力は腕力に代つて勝を制する時代となつた。獨逸が他の交戰國に比して遙かに強味を示して居るは即ち獨逸の化學が聯合各國に比して遙かに進歩發達して居る事を證明するものである。然らば斯くの如く優秀なる科學を有する獨逸人の頭腦は他の何れの民族も企て及ぶべからざる程に勝れて明晰なるものであるかと云ふに事實は其の反對に英、佛、伊國よりも概して獨逸人の頭腦は遲鈍であると、日本人などに比べると遙かに鈍い頭腦を持つて居る。然しながら努めざる天才よりも不斷に勤勉努力して居る鈍才は其の結果に於て懶惰の天才よりも多

く優者であり優秀者である事は幾多の事實が證明して居る。獨逸人は更によく之を實證したものである。凡その事の成効は運、鈍、根の三聖から成立つて居るが獨逸今日の成効も實に此の三聖の上に立つて居る。即ち獨逸は運も好かつた。ナポレオン沒落以後降強の佛國は事繁く各列強は戰後經營と平和事業の爲めに孜々たる間に在つて獨逸は著々として他日興隆すべき素地を作り上げる事が能きた。其の上ビスマークの如き大政治家の生れた事、又現皇帝の如き英主の生れた事などは確かに獨逸の好運であつた。鈍は古來獨逸人の持前で有つた。羅馬勃興時代から彼等は歴史を見ても如何に其の行動が鈍で有つたかと云ふ事は好く分る。十八世紀前までの彼等は實に一種の野蠻蒙昧の民族に過ぎなかつた。其と同時に根氣の好い事は亦驚くばかりで彼等は如何なる問題に逢著しても其根本を突止める迄は悠々として努力の手を休めないと云風である。此の根氣が實に今日強獨逸の基礎を爲して居る。科學の進歩應用には比類なき効果を收めて居るが、其の最初の發明は獨逸人自から發明したものは極めて少なく、彼等の科學は何れも英佛伊等の先進國から原料の如く輸入されたものである。其の一例を擧ぐれば近世の哲學と科學の學説を全く一變させた進化論の如き、又はラジームの如き、X光線の如き、又は無線電信の如き近代の驚くべき大發見大發明は悉く佛、伊、英人の發見する處であつて獨逸人に有つては未だ世界の文明に一大革新を起さしめるやうな大發明の源を開いたものは殆ど無い。僅かに彼等の誇として居る哲人カントの如きもスコットランド人の血を承けて居ると云ふ事を近來傳へられて居る。獨人の頭腦は自からは發明を能く爲さないが他の發明を基礎として之れを實地に應用するの能力、即ち努力に至つては實に驚歎すべき力を有つて居る。例へば無線電信の如き發明者は伊太利人であるが獨逸の使用して居るものは世界の何れの國よりも進歩發達したものであつて最近傳へ聞く處に由れば一時南洋方面に出沒したるエムデン號は亞非利加の或地點に本國と相通信し得る強力なる無線電信所を設置し居たりとの事である。潜航艇の如きも佛蘭西が發明の本家なれど獨逸は更に幾多の工風を凝らし改良を加へて發明者の國よりも以上に應用者となり、現今にては發明したる佛國を始め世界各國を苦しめて居る。染料のアニリン色素の如きも其の原は五十餘年前に英人パルキンがコールタルの中から發見したものであるが、アニリン染料は其の製法複雜であつて最初英國にて製造會社を創立したるが損徑相償はずに倒れたが、獨逸人は此の色素の發見されるや直ちに默々の間に其の研究を進め遂に英國に代りて染料の製造に成効し開戰前迄は英國を始め各國に莫大の輸出を爲し戰亂勃發當時はアニリン色素の發明源なる英國に於ても日本と同樣に獨逸より染料輸入杜絶の爲め非常の困難に遭遇した。以上は僅かに其の一例に過ぎないが獨逸人が他國人の發明を取つて之れを完成し應用するに如何に根氣よく暗默の間に努力して來つたかと云ふ事は其の發達した科學の應用の廣汎なるに徴して明かである。獨逸人は佛人及び日本人の如くに天才肌ではないが勤勉努力は遙かに日本人又は英佛人の上に超えて居る。獨逸人が斯かる強き根氣を有する事は其の民族特性の然らしむる處であるが、又後天的にも磽确なる其の國土と瘠薄なる其の植民地とは勞多くして天惠少きに由り自然に勤勉にして質素なる氣風を養成せられたものである。此の先天後天的に勤勉にして質朴的なる國民性に加へて、幾多の社會組織は科學の實地應用を促進せしめたのである。實に獨逸人は一つの學理學説をも之れを實地に應用せざれば止まぬ風が有る。他の文明先進國が學術と學問とを別個に取扱つて居る理論や發明を獨逸人は如何にせば之れを實地に應用し得べきかと云ふ事に就て研究して來つたのである。故に其の研究は學術の爲めの學術の研究でなく、十露盤珠に合せやうとする研究である。飽迄實際的飽迄實利上で有る。玆に彼等の強さの生れ[illegible]

扁社は増進せられたのである。獨逸の各製造工業の會社には會社内に少くとも一箇所の研究所は必ず設けて在る。其研究所には會社の事業と多少にても關係を持つて居らぬ技師が多數に雇入れられて、恰度大學の教授そうな資格で居る。之れ等の製造會社と他國の會社との大いに異つた點である。事業の技師が十人居れば研究技師は十五人位の割合に必ず這入つて居る。之等の技師は會社から當業技師と同等の優遇を受けて研究を續けて居る。其の内に意外の發明を爲す者もあり、又は一生涯何等の發見もなくたゞ會社の飼殺しに終つて了ふ者もある。斯くの如く各會社が研究所を設けて置く事も單に會者が學者を優遇する爲めではなく、斯くの如くする事が矢張り十露盤球に合ふからである。「世の中に材ほど廉價なる者は無い」彼等は如何なる代價をも拂つて購ひ入れ置かざるべからず」といふ諺を獨逸の會社は最もよく實行して居る。獨逸の化學は斯くの如き研究所の中から大いに進歩發達し又會社自身も莫大の收益を擧げて居る。會社の研究技師は新らしき發明を爲せばそれに由て得る利益の五分は發見した技師の方に分配される事に成つて居るから技師の方でも熱心に研究して居る。斯くの如くして新しき發見を各會社が競爭して居る。一つの新發明から得る利益は研究所の經費の如きは何程の事でもない。斯の如くして彼等の科學は益々進歩發達するばかりである。斯く述べて來ると然らば獨逸の學者は悉く營利の徒であつて社會の如くに見て居るかと云ふに之も亦決して然らず。獨逸の社會で最も尊敬を受けて居るものは軍人である。學者は軍人に次ぎ或は軍人と同等の尊敬を受けて居る。其れと同時に獨逸には品性高潔にして篤學なる學者が多い。獨逸には大學が二十以上有るが、大學教授は何れも堂々たる大學者ばかりである。之は大學教授の任用令なども日本とは異つて居るからである。日本では大學を優等で卒業すれば直ちに任用されるが、獨逸では、大學教授に任用されるのは殆ど勉強は爲ない。其の上給料も少いから内職などばかり爲て居る有樣だが、獨逸の大學卒業生は數回

乃至十數回大論文を發表して社會一般から學術界に功績ある大學者たる事を承認され後始めて大學教授として任命せられるのであるから、年配から云つても可成の長者である。月俸は大抵四五千圓位給せられるが、日本の千八百圓乃至二千二三百圓に比すると遙かに優遇されてあるわけである。其の上に[illegible]等の收入は悉く其の教授の收入に成るから評判の好い教授の收入は莫大のものに成る。斯くの如き[illegible]に學者をして[illegible]安心を起さし研究の歩を進めて[illegible]故に[illegible]の如く[illegible]學者[illegible]の如く[illegible]して研究の[illegible]に安心して[illegible]の[illegible]に向つて突進する學者が能きる。斯くの如く研究の[illegible]の如く[illegible]して、[illegible]の應用を如何に國民の[illegible]彼の科學の進歩の[illegible]に足らぬ次第である。然るに日本の[illegible]會社の如き[illegible]雇入れ、科學の應用の如きは實に[illegible]を極めて居る。[illegible]専門の技師のみを[illegible]ふ風に當業[illegible]技師ばかり用ひて理學を深く研究して居る[illegible]を雇入れて置く[illegible]技師と云へば悉く[illegible][illegible]に日本人[illegible]缺けて居る。[illegible]場の如きも[illegible]

[illegible]日本人は官民協同一致して[illegible]も爲て居らぬ。近時問題に成つた理科學研究所の如きも、彼の如く其の前途も[illegible]の[illegible]。

[illegible]必ず[illegible]の防備である。[illegible]

[illegible]年の戰爭[illegible]は[illegible]

府は十萬乃至廿萬圓の研究費を投じて防腐法を研究すれば根本的に有害の混入を要せざる完全なる防腐法を發見するに至らん[illegible]萬圓の經費を有するに過ぎざるを以て遂に五年の期限を經過するも他に防腐の方法を發見するに至らず、遂にサルチルサン混入禁止の無期延期を宣したるが如き失態を演ずるに至つた。それのみならず歐洲戰亂と共に獨逸よりサルチルサンの輸入杜絶の爲め大正三年度の釀酒は二十萬石を減じたる爲め、政府は一石五十圓の造稅即ち一千萬圓の損失を招いて居る。其の始めに於て僅かに十萬乃至二十萬圓の研究費を惜みたる結果は見す〱國民に害毒液を飲ませ政府自からも又鉅萬の損失を招いて[illegible]

[illegible]即ち學術の戰爭である。然しながら二個以上の國家の戰爭が伴つて居る[illegible]化學的戰術に[illegible]原則として[illegible]戰爭は更に幾倍進歩した[illegible]の勝敗存亡が[illegible]我が生存を持續せんと欲せば獨逸の強盛を來した[illegible]るべからず。[illegible]

## 虹

――五の日十の日會吟――

浮碧樓

虹遠くよりわが額明るし○

わが額硝子戶に映り虻鳴く○

木匍匐す陽に虻動く水昏○

虻鳴く午餉一ツ時のつかれ○

傘掛の釘並ぶ虻

虹耳平堂

# 新學期開始
四月中入會者に限り
入會金全免の特典あり

## 獸醫畜産 業勃興の新時代來る!!

「▲軍の活兵器たる馬匹の改良補充等は刻下の急務なり
▲軍需品中被服馬具靴其他革製品中罐詰等皆畜産物なり
▲國民の保健上最需要なる乳肉の需用は日を追て激増しつゝあり
▲今や都會は勿論津々浦々に至る迄一人として毛織物或は革製品を身に著けざるものあらんや」

「之が生産の大任は懸りて青年諸君の双肩にあり 見よ! 歐洲交戰各國が如何に之等の供給に苦心しつゝあるかを!

諸君は時運の趨勢に鑑み奮而斯學の研究に努め以て本邦畜産界の改良者たれ當業者たれ!!!

詳細内容見本 會則進呈 往復はがきにて申込まれよ

一ケ年卒業 大日本獸醫畜産學講義錄

會長 陸軍一等獸醫正 從四位勳四等功四級 獸醫學博士 柳澤銀藏

東京市京橋區[illegible] 帝國獸醫畜産學會 振替[illegible]

袖珍 府及學校組合法規提要 宇佐美内務部長閣下題字 小原地方局長閣下序文 京城日報社編纂

府制、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して洩さず就中卷末に添附したるもの如きは最近七月に發布したるものまでも改めたるを以て府及學校組合は固より内地人各學校教員、組合員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

裝幀 携帶に便ならしめんため製本を[illegible]したり紙數は三百餘頁總洋布[illegible]文字入りの美本なるに加へ[illegible]法規其他必要事項の記入に便せんため每頁の上部に一寸五分の白紙を設け更に卷末に十數頁の白紙を備忘要欄に供したるが如き以て編者が[illegible]上に於ける用意の一端を窺ふに足らん

▲定價金[illegible] 送料[illegible]

大賣捌元 京城太平通二丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇番

五月號出來 新少年 [illegible]

勸業債券 [illegible]

動勸債券[illegible] 建部月[illegible] 大阪市西區[illegible] 建部[illegible]


[illegible]

六月限 [illegible]七千三百五十石

● 泥棒職工 京城公平洞韓昌[illegible] 晩(二三)は昨年十一月中同洞[illegible]の

[illegible]

▲休日越し如何 [illegible]

▲第三回審査 [illegible]

▲能く買ふ [illegible]

# ○露外相戰爭繼續聲言

露國外相ミリウコフ氏は英佛代表者の露國來著を歡迎し且つ露國は斷乎として戰爭を繼續すべきを聲言せり（露都電報）

# ○紐育市の愛國的行列

紐育にて愛國的大行列行はれ市內は沸くが如き盛況を呈せり（紐育電報）

## ○陞敍

二十一日左の如く陞敍發表あり（東京特電）

內閣書記官長 伯爵 兒玉 秀雄
京都高等工藝學校長 工學博士 中澤 岩太
敍高等官一等（各通）

# ○選擧結果

其後判明せる各市部の當選者左の如し（東京電報）

京都市 渡邊 昭（國、前、公）
同 小川鄉太郎（贊中、新）
同 森田 茂（憲、前、公）
堺市 北田豐三郎（反中、元）
熊本市 山田 珠一（憲、前、公）
尾道市 橋本 太吉（反中、前）
德島市 武市 彰（准憲、元）
盛岡市 原 敬（政、前、公）
函館市 佐々木平次郎（贊中、新）
久留米市 大藪房次郎（贊中、新）
神戶市 野添 宗三（國、前、公）
同 坪田 十郎（政、新、公）
名古屋市 小山 松壽（憲、前、公）
同 磯貝 浩（憲、前、公）
姬路市 大森與三次（憲、元、公）
福井市 松井文太郎（贊中、新）
廣島市 早速 整爾（憲、前、公）
小樽市 金子元三郎（憲、前、公）
福岡市 松永安左衞門（中立、新）
宇都宮市 上野松次郎（准政、新）
仙臺市 若崎惣十郎（政、元、公）
弘前市 伊東 重（政、新、公）
米澤市 小林 源藏（政、前、公）
秋田市 田中 隆三（政、元、公）
松江市 岡崎運兵衞（憲、前、公）
高知市 中野寅次郎（政、新、公）
奈良市 上村 耕作（准憲、新）
若松市 白井新太郎（贊中、新）
青森市 工藤 卓爾（政、元）
高松市 井戶文四郎（憲、新、公）
丸龜市 加治壽衞吉（憲、前、公）
松山市 尾崎 敬義（贊中、新）
札幌市 中西六三郎（政、前、公）
大阪市 白川 次郎（國、新、公）
同 紫安新九郎（憲、前、公）
同 上田彌兵衞（中立、新）
同 金澤 仁作（贊中、新）
同 今井 嘉幸（贊中、新）
同 河野 徹志（贊中、新）
山形市 戶狩權之助（政、元、公）
鹿兒島市 床次竹次郎（政、前、公）
和歌山市 大堀 孝（國、前、公）

### 附記

岡山市 有森 新吉（國、元、公）
佐賀市 武富 時敏（憲、前、公）

若松市の當選者白井新太郎氏と柴四朗氏との間に爭論あり即ち柴氏の投票中「柴四朗閣下」と書せし者あり右を無効として白井氏は一點の差を以て當選せしが若し有効とせば同點數なるを以て柴氏は年長者として當選すべし
別報に依れば宇都宮市石石仁太郎氏（國、元、公）當選とあり前記上野松次郎氏と何れが眞なりや記して後報を待つ

### 各派當選者內譯（本紙締切迄に判明せる）

憲一八▲准憲三▲反中三▲贊中一三▲中立二▲國九▲政二十二▲准政二▲外國民黨一名不明

### 備考

▲政は政友會▲准憲は憲政會に准ずる者▲反中は政府に反對の中立▲贊中は政府に贊成の中立▲中立は態度不明なる者▲國は國民黨▲准政は政友會に准ずる者▲元は曾て代議士たりし者▲新は新たに代議士となりし者▲前は前期議會に代議士たりし者▲公は各派公認候補たりし者

## ○德富上院議員通過

海印寺の視察を終へたる德富貴族院議員は二十一日午後四時十分大邱驛通過同七時十五分釜山著八時三十分解纜の聯絡船にて歸東せり（釜山特電）

## ○海苔採取不況 全南の製造高

朝鮮產海苔は製法改良の結果近時需要を激增せるのみならず其の價格亦大に高騰を告げ之を四五年前に比すれば優に二倍を唱ふるの狀況なるより製造業者續々現はれ全南管內の如き昨年は爲めに原料の不足を訴ふるに至れり、其の結果本年は築の建設頓に增加し莞島郡に在りては前年の三倍、長興郡に在りては二倍を算せるのみならず從來發殖を見ざりし康津郡には新に百柵の築を建設せり、今全北管內に於ける本年の築數及び其の建面積を見るに左の如し

| | | |
|---|---|---|
| 莞島郡 | 七、五七八柵 | 六〇、六二四坪 |
| 長興郡 | 二、四〇〇柵 | 一九、二〇〇坪 |
| 康津郡 | 五〇〇柵 | 四、〇〇〇坪 |
| 計 | 一〇、四七八柵 | 八三、八二四坪 |

然るに本年は不幸にして海苔發芽の初期に當り氣温上騰に過ぎたる爲め遂に瀰茅の腐蝕を來し一番海苔は之を採取する能はず二番海苔より漸く採取したる有樣にて一柵の生產量平年の三分一に過ぎざる不成績を見たり而かもり但し當業者は此の不況に滅げず需用の激增と價格の昂進とに依りて頗る前途を樂觀し明年は一層築建を擴張して以て生產の增加を畫し居れり尙ほ本年度の製造高を養殖地別に示せば左の如し

| 地別 | 枚數 | 價額 |
|---|---|---|
| 莞島郡 | 六七五萬枚 | 二四、三〇〇圓 |
| 長興郡 | 二八〇萬枚 | 一一、二〇〇圓 |
| 康津郡 | 四五萬枚 | 一、六二〇圓 |
| 計 | 一〇〇〇萬枚 | 三七、一二〇圓 |

## ○移民募集狀況

東拓第八回移民募集狀況を聞くに本年即ち第八回移民よりは移民事務を總て下關出張所に於て取扱ふこととなれるも從前よりの關係上地方人は未だ其のことを知らざるを以て今猶東拓本社に願書を送付するもの尠からず故に今日迄本社に於て受付けたる願書は內地居住者七十戶朝鮮在住者三十戶合計百戶にして右は孰れも本社より更に下關出張所に回送し同出張所の銓衡に委することゝなれり而して本社出張所に於ける今日の出願總數は知るを得ざるも既に數百戶に達せる模樣なりと

# ○日支親善の實現期

## 日本は驚く可き進步發達を爲せり＝日支親善に關する三條件＝貴國の新聞記者諸君に望む＝支那は日本の視察團を歡迎す

支那交通次長兼鐵路督辦 王敵煒氏談

日支交通聯絡會議第五回記念祝賀會に參列の爲め過般朝鮮經由內地に向ひし支那側委員王交通次長等一行は更に歸路を鮮浦に執り二十一日朝東大門驛通過鐵路北行したり、王敵煒氏の車中談に曰く、我々一行は五日東都に著し滯留十日、其れより漸次西下して各地を視察觀光せり、此の行恰も彌生も酣の頃なりしこととて到る處百花爛漫、遺憾なく日東櫻花國の情趣を味ひ得たるは愉快に堪へず、取り分け交通當路は素より東京其の他處所に於て意外の歡迎を蒙り

▲非常の優待を忝うせるに至りては一同の感銘措く能はざる所なり、予が貴國の大學を卒へしは七年前の事なるが在學時代と今日の狀況とを比較すれば月鼈の差も啻ならず、交通運輸の途、殖產興業の道、其の進展發達の速かなる唯だ只だ驚くの外なきが中にも工業界の進步は特にその著しきを感ぜり、還は丸家の爲め洵に親福至極にして貴國の將來益々隆昌ならむこと期して俟を得可し、却說久しく見むとして見る能はざりし日支の親善は今や愈々實行の期に迫れり、此の際吾人は須らく空論を排して徹頭徹尾其の

▲方法を攻究せざるべからず、予は之に對して三個の條件を主張せんとす、即ち誠意、永續及び相互的これなり、抑も兩者の親善を缺ぐは其の間隔意あるに因る、此の隔意を排するもの是れ誠意なり、而かも此の誠意は相互的なるに依りて初めて完きを得可く、既に完きを得ば俄く之を永遠ならしめざる可からず、之れ予が兩國の親善に對して常に此の三條件の

▲必要を絶叫する所以なり、但し眞の親善は單に兩國政府間のみに止まらず更に進むで兩國民を擧らざる可からず、而して國民の輿論を負ひ意志を代表して以て天下に呼號するものは新聞なり、若し新聞にして衆りて兩國の親善に盡さむか、國民は假令親善たらざらむとするも得べからざるや論なし、予は貴國の新聞記者諸君に對して特に意を此の點に注がれむことを切望す、尙ほ世話に百聞一見に若かずの諺あり、予等が此の行に依りて受けたる好印象が兩國の親善に資する處尠少ならざると同樣

▲貴國の政治 實業家等に在りても亦近き機會に於て御來訪を得ば我國情を了解さるゝことにより兩國の親善に裨補する所更に大なるものあるべく、殊に國民輿論の機關たる新聞記者團諸君にして我國御視察の榮を得ば其の齎らす效果實に測る可からざるものあらむ、幸にして實現を得ば交通部の如きは諸彥の爲め出來得る限りの便宜を圖るべく、終に臨み予は滿腔の誠意を以て滯在中に於ける官民諸君の御優遇を謝し併せて大日本帝國の益々隆昌ならむことを祈る

## ○地稅告知と納付

京城府第一期市街地稅の納期は本月中にして餘日無きに至りたるが納稅告知書發布數は內地人二千五百十通鮮人一萬八千二百五十通外人二百二十七通合計二萬一千二十七通にして即ち納稅人員數なり其の內二十日迄の納入濟人員は內地人二百三十五人鮮人千二百九人外人六十二人計一千五百六人にして納期限も切迫せる事とて府稅務課にては鮮人貧民部落等に對しては督促手數料等の負擔無からしめん事を期し昨今納稅督勵進行中なり因に納稅成績思はしからざる場合には當局にては期限後滯納者に對しては遠慮なく差押處分執行する筈と云ふ

## ○第二回農債償還

株式會社漢湖農工銀行にては隆熙二年（明治四十一年）十二月二十五日發行の甲號十圓券總額十萬圓全部の償還を爲すべし元利支拂期日は來る二十六日にして同日迄の利息一通に付二十三錢三厘鮮內各農工銀行本支店に於て支拂を爲す由又同年同月日發行の株式會社光州農工銀行乙號債券の償還未濟金額五萬圓に對し光州農銀に於ては來る五月一日以降同行本支店及び鮮內各農銀に於て償還支拂を爲すべしと

## ○取引革新勸異存 釜山穀物

釜山穀物輸出商組合にては朝鮮米穀取引方法革新の爲め同組合の決議事項を內地米穀商の取引先へ通知したるに對し名古屋肥料米穀問屋組合より決議事項の中「米穀賣買に付驛著渡し及び沖著渡しの賣買契約を以て爲したるものは其仕向地驛に到著したる時又は沖著渡は其仕向地港に本船の到著したる時を以て賣方の責任を終るとし其後の責任は一切買主の責任とす」とあるに對し目的物の履行を了せざる間は賣主の責任存在するものにして單に貨車又は本船が仕向地に到著したるを以て賣主の責任を解除することは失當たるを以て右條項は之を承認し能はずとの旨を回答し來れり（釜山）

## ○府民籍取扱件數

大正五年度京城府に於て取扱ひたる民籍事件其他の件數左の如し

| | 大正五年 | | |
|---|---|---|---|
| 民籍事件 | 三五、二六八 | 大正四年に對比增 | 一、二五一 |
| 居住規則に依る事件 | 二五、四九四 | 同增 | 一、二四四 |
| 民籍閱覽謄抄本交付 | 二五、四六四 | 同增 | 一、七六六 |
| 居住規則に依る閱覽謄抄本交付 | 一、一九二 | 同增 | [illegible] |
| 印鑑屆改印屆 | 九、二三三 | 同減 | [illegible] |
| 印鑑證明 | 一七、五三四 | 同增 | [illegible] |
| 埋葬許可 | [illegible] | 同增 | [illegible] |
| 火葬許可 | [illegible] | 同增 | [illegible] |
| 以上合計 | [illegible] | 同增 | [illegible] |

## ○支那遍歷 上海短信（二） 中島生

三月二十七日朝は日清汽船會社の支店を訪問して宿に歸り、前夜南京より蘇州を經て入滬せる韓相龍氏等と連れ立ち、午前十一時日本總領事館に到り、有吉總領事を訪問敬意を表し候。有吉氏と暫らく對談の後、岸副領事加藤書記生にも面會、何れも懇切に迎せられ、種々有益なる談話を聞かされ申候。出來得る限りの便宜を計るべしとて午後は正金銀行、臺灣銀行、三井物產社、三菱支社、郵船支店を歷訪し、各支店長に面會致候。何れに行きても寸暇なき執務時間を割きて、快く面接せられ、成可く築かずに待遇せられたるは、感謝に餘あり候。外國銀行會社の根據を据ゑたる黃浦灘路、支那側銀行町或は問屋町とも云ふべき北京路、其他大廈高樓比したる、金色燦然たる招牌を以て飾られたる、目拔きの街路を一巡し、城內に入りて湖心亭を見物致候處、只々非常の雜踏と、乞食に付き纏はるゝ煩さゝとにて、頗る閉口致候。夜は高橋君の案內にて韓、賀、敎君を拉し上海の銷金窟たる四馬路を步く。何しろ大變なる賑ひにて、香車寶馬絡繹たり。大人は悠々と、遊野郞は氣取り、美姬は乙に澄まして東上得々として茶館に出入し、右往左往の車馬は梭の如く織く、容易に路を橫切ることすら、朝鮮の田舍者には、苦勞の種にて候。恰も一劇場の前に來りたれば、試みに入りて見るに、三國志を演じ居り、孔明が出るやら玄德が出るやら、囃子の音が徒らに騷々しく、何の事はなし、芝居と輕業を一緒にしたやうなものにて、それでも要所々々で見得を切るところは我邦の舊劇に似たりとも思はれ候見て居るうちに小生は何時しか舟を漕ぎ始め、高橋君に肩を叩かれて、相携へて歸り申候。

## ○哈爾賓より

四月十六日夜半 韓 和龍

今朝長春に著し、午前は朝鮮銀行支店長の御厚意に依り、市街見物を致し、汽車便の都合に依り午後直ちに出發、只今（午後十一時三十分）哈爾賓に到著致候。哈市は支那の地とは申しながら全く露西亞人の部落たる感有之候。途中汽車の部屋は陰氣にして甚だ寂しく、夜は蠟燭一本にて咫尺辨ずる能はず、言語通せず、食堂なく、愈々哈市に到著するや、露支人のみにて日本人を見る能はず。驛上に彷徨數刻、全く自由を失し申候。幸に三井物產會社田中氏の御來迎あり、其御親切は實に感佩の外無之、特に外國驛に於ては旅客をして一層其の感を深からしめ候。而して只今東洋館と云ふ旅館に入泊致し候。市中の道路は險惡にして、而も今朝來降雨あり、天氣尙ほ陰鬱、哈市の訪問は凡て不愉快に候。幸に日鮮親善の結果に依りしか、車中の諸人、生粹の日本人たるを解し微笑を含み好意を表する樣見受けられ候。

## ○收繭一萬三千石 平南

本年度收繭一萬三千石の豫定を以て諸般の準備を爲し居れるが目下栽植中なる桑苗の如き六百萬本に達すべし（平壤）

## ○石塚總裁歸期

鄕里福島縣に歸省後過日東京に出で滯在中なる石塚東拓總裁は二十三日頃東京出發歸任の途に就くならんと

## ○大原秘書歸京

東上中なりし朝鮮銀行秘書役大原胤夫氏は二十日午後九時南大門驛著汽車にて歸京したり

### 人事消息

▲東鄕吉太郎氏（海軍中將）二十一日夜鎭海より□□少佐を從へて入京朝鮮ホテルに投宿したるが兩三日中滯在仁川なら觀察すべしと
▲堀田正一氏（貴族院議員）二十一日夜入京旅館へ
▲近藤右衞門氏、名古屋實業家 同 朝鮮ホテルへ
▲岡村左右松氏（日本殺錠社員）▲伊吹□□氏（同）同上巴城館へ
▲中村保五郎氏（□□□）同上天眞樓へ
▲河本海藏氏（龍山衛戍病院長）廿一日夜退京

## 南言北語

佛蘭西では今度の戰亂で創立した新聞局の內に「アナスタジ」と云ふ一部がある之れは新聞檢閱部だが▲「アナスタジ」とは妙な名だと調べて見ると其の名稱の起りが一狂女の名から來て居る▲狂女アナスタジは生粹の巴里ッ子で有名な美人であつた▲發狂後は頻りに巴里の市街中で非常な風俗壞亂をやつて世人を驚かせた▲其の女の取締と獨探新聞記者の記事の檢閱には當局が大いに困つた▲其處から檢閱部へ「アナスタジ」と云ふ名を付けた佛蘭西式な所が面白い▲先達渡鮮し金剛山探勝中であるとか云ふ高島北海畫伯に就て面白い話がある▲翁が渡鮮前熱海に滯杖して製作に耽つて居る際久原房之助君と面會した▲風流談の末翁が何氣なしに「僕に一萬位の資產があらば老年と雖も大藝術を成すを得るのだが」と云ふのを聞た久原君▲「畫家は其位の金で心配なく仕事が可能るのですか其なら唯今早速御用立きせう」と▲即座に懷中から取り出した紙入から差し出したは小切手で一金一萬圓也▲間もなく翁は渡鮮したが定めて一世を聳かすべき大作品が出來るのだらうとの評判▲日々に氣候は好くなる氣候が好くなれば家內に用もないのにむづ〳〵して居たくない▲櫻にはまだ早い此の日曜は北漢山へ行け言子なども大に力んで先頭に揆き上る積りだ▲吾と思はん健脚家は御出候へ〳〵

白雲別墅夜會席上賦呈蘇峰先生 心田 安中植

好向白雲深處期。（[illegible]）清緣
或恐世人知。蒼公稍澁雲峰學。早
讀先生兩得之。
亭閣蕭灑絕塵埃。老石蒼松一逕開。
白嶽嵯峨來爽氣。高人獨倚臥雲臺。（閣中有[illegible]臥雲臺三字）

蘇峰先生招飲席上心田翁作並併題二絕乃次其詩韻以供先生一粲
且以博大政 文哉 工藤 壯平

桃花流水有心期。門外青山亦舊知。
一笑流連淡一醉。春林老鶴去何之。
洞天靜寂絕纖埃。已見後園[illegible]杏開。
雞犬相迎猿鶴狎。神仙來臥白雲臺。

同 天彭 今關 壽麿

恍訝高僧石上期。者番情味一燈知。
坐深偶及文章事。無得人間說退之。
松林有路起塵埃。門傍層巖扉半開。
[illegible]佳客歲萬眷。青山長擁臥雲臺。

## ●保險官營案

時に在上海外國保險會社は支那保險……保險局設立案を國務院に提出し已に其議定を經て該條例は兩院に送附せられ如く該條例に據る時は保險局……局を各省地方に設け在各省の官立銀行分行號及び郵電分局に其代理を托するにあり（北京）

……該地紳民李某等は同志と與に磁器公司設立を企て官憲に出願せり（吉林）

## ●露支航權交涉

……支那船の航行を許るさず一昨年來吉林交涉署は之れを露領事に交涉するも今に決定せずして支那船は一切烏蘇里江に入る……露領事に嚴重なる交涉を開始せり

## ●奉天より

## ●英米煙草の擴張

……萬圓一箇月約十萬圓即ち一箇年一百二十萬圓內外にて之れを上海本工場に於て仕上ぐ……輸送を中止し來る秋期より更に大なる規模を以て業務を擴張する筈なる……入に繼ぎて露油賈大石油を現し來れるも猶スタンダードに對抗する能はず全くスタンダード獨占の姿なりし事……最近亞細亞の哈爾賓に於て日本……


實業之日本 四月十五日號 定價十三錢 税一錢 東京京橋 實業之日本社
■心を強くする法…野田社長
▲北海炭礦と其首腦者…瑞川
▲外交官出身の實業家…[illegible]
▲腦を使ふ人の身體と食物…[illegible]學士
■景氣好い商賣する人…[illegible]博士
新入社員の採用法
▲採用保證の人…[illegible]
▲新入行員資格…正金銀行[illegible]
▲採用拒絕の人…日本郵船[illegible]
▲採用三大方針…三井物產[illegible]
▲今年採用の人…[illegible]
▲小學生採用法…三井銀行[illegible]
▲低級員採用法…日本銀行[illegible]
■商力增進の大秘訣…[illegible]學士
▲當代大實業家養子物語（今度は誰）…素秋
▲（奮闘成功美談）深川の俠商…碧堂
■春に修養する事…新渡戶博士
■戰後の大日本

化粧用、洗濯用 角形石鹼 元祖 浦本石鹼工場 京城 電話三九四番 振替三三九番

講談雜誌 五月號 定價二十錢 税一錢 東京本鄕 博文館
■仙吾村正（大長講）…渦草舍英昌
■狐の女郎買（新作落語）…入船亭扇橋
■大久保政談 かのとみ…神田松鯉
■小櫻仙太郎…[illegible]
■舞扇松山鏡（實說）…[illegible]
■天明白浪傳 お鐵の慘殺…[illegible]
■鐘彌左衞門…[illegible]
さみだれの宿（大判口繪八幡白帆）
■むた松の仕返し（奥州白浪…綴講）…悟道軒圓玉
■一つ穴（落語）…三遊亭圓右
■尾上松鶴 草枕戀旅杖…[illegible]
■浮れ三番（落語）…[illegible]
■幾代塚の由來…[illegible]
雜錄 ▲太神樂の寄席… ▲寄席雜記（鈴本）… ▲街上の巴里女… ▲和歌と俳句…
■永井源三郎（長講六回）…猫遊軒伯知

鑛山用測量器諸機械 京城本町 シンキ

鎭南浦 株式會社 中村組鐵工部 電話一六一番
塗船用 汽機汽罐製造並に修繕
鑄物溶接用 鐵、鋼、鑄鐵、黃銅鎔接並に修繕

[illegible]者は代表者を北京に派遣し運動したる結果農商部は保險法を訂正する事に決せしも總理財政總長は早くも國立
[illegible]十分の一拂込を待ちて營業を開始す官吏年金、生命、農業、水火等の保險經營を業務となし本局を北京に分
吉林縣下分路河鎭、裴家屯、狐頭山一帶の土質は甚だ磁器の製造に適するも從來之れを拋棄しゐたるが今回
吉林省東北境の露領に接する通江子河は烏蘇里江口に在り元と露支共有河流なるに露人は之れを獨占して
林、綏遠、饒河、寄山等諸縣は[illegible]を經過するも開拓の途を擧ぐる能はざるを慨して今度亦吉林交涉署より
奉天英米トラスト煙草に就き更に探究する處に據れば目下該工場が上海に輸送しつゝある加工原料は每週二
[illegible]て一箇年一千二百萬[illegible]の紙煙を製作販賣する譯なり猶奉天工場は茲處當分にして其原料盡くるを以て其上海
△石油界[illegible]用の石油は從來スタンダードこれが牛耳を執り近年英國亞細亞石油の從[illegible]て上記二油よりも遙に廉価なるを以て購買者は非常に多く目下時弾質有油界は激烈なる混亂狀態に在り(大連)

# 句佛上人
## 蕪村子規の風格を慕ふ

東本願寺の法主が句佛上人である事を知つてゐる程の人ならば現時の俳壇の一方に於ける上人の勢力と名聲を知つてゐる筈である、上人が

▽俳句に指を 染められたのは今から二十餘年も前の事で上人の俳句は京都にある頃早くも始められ、明治三十一年東京淺草別院に滯つて修業さるゝ事となつた際、ふと雜誌『ホトトギス』を讀んで、當時崇子規の唱道した

▽新俳句論に 感じてから爾來その風格を學び、延いてはいた蕪村を慕ひその句集愛好の餘り自ら淨寫し註釋を施されたほどであつて、子規に逢ひたしと思ひながら遂ひにその機を得ず子規が歿したので蠹臣にして俳人なる栗津水棹氏をひそかに弔鐵に合せしめられた事さへあつた、その後こいへども

▽居士の墓を 展せられた事は一再ならず、毎年正當には絲瓜忌といふを開催される、子規を詠じた句は澤山あるがその中から三四句を拔いて見る

子規が終焉を知らざりしを悲しむ
さりとては知らず我れきり〳〵す　彩く夜なりし
十六夜のそれも絲け行くその頭を
子規の墓に詣づ
君が墓に絲瓜の水を濺ぎけり
子規一週忌正當
雞頭のあるが悲しき根岸庵
雞頭に師が事のみぞ思ほゆる

その後京都に歸られてからは高濱虛子河東碧梧桐の

▽兩氏の來訪 に接してその說に耳を傾け私淑せらるゝところもあつたやうである、かくて清新優雅の新句風は頓に進み俳人句佛上人の名は是れより大いに著はるゝに至つたのである、日露戰爭の前頃京都の四明、鱸江、木母などの俳人同志が寄つて雜誌懸葵を發行し

▽大いに斯道 を鼓吹せんと企てたが收支償はず數箇月で廢刊せんとしたが上人是れを引取り水棹氏をして編輯に當らしめ以て今日に及んでゐる、又上人の幹せらるゝものに下萠會といふがあつて碧、虛等名士の來京を機として俱發郵などで時折運座の筵を開かれた事もあつた

▽こういふ時 はいつも一俳人として伍し、時に合弟なる禿庵(鼻識)待痴(瑩亮)の兩師の加はられる孰れも非常に平民的にふるまはるゝ數年前までは碧氏に私淑されてゐたがその後自ら一轉化を見るに及んで最近には『懸葵』に『我は我』の吟旐となり、その獨自なる自由の境地を進し濶步しつゝ天才的表現を遂げて居られる(つゞく)

# 獨逸の潛航艇は二週間の航續力を有す
## 鎮海要港部司令官海軍中將 東鄕吉太郎氏談

鎮海要港部司令官東鄕海軍中將は二十一日午後九時南大門着列車にて入京朝鮮ホテルに投宿したるが途中まで出迎への記者に語つて曰く

鎮海灣の春 既に葉櫻の末に成つた山も河もみどりをたゞへて早くも初夏の裝ひを凝らして居る、京城には誠に久方振りである、明治四十二年今上陛下の東宮にて在しまして御渡鮮の折り御隨行申上げた其れ以來始めて京城を見るのだから隨分異つて居る事と思はれる、鐵道沿線の山を見ると赤い山、眞白の山、石ばかりの山、たまには靑い山といふ風で實に山の種類に富んで居る‖

◆獨逸の潛航艇 がメキシコを陸送しく太平洋に出現して居ると云ふのが事實かと云ふのか？そんな事は判らぬ、しかし獨逸の潛航艇が太平洋にまで手を延ばす餘地が有らば必ずしもメキシコを陸送しなくても來られぬ事は無からう、獨逸の事で有るからイザと成れば何んな事を爲るか判らない、現に此の頃も人間の屍から油を採つて居る位であるから人道も何も有つたものではない獨逸の潛航艇に關しては

◆英國も手の下 し樣が無い今の處戰鬪艦も完全に潛航艇を防禦する方法はないたゞ其の速力を利用して潛航艇に追付かれぬ事と蛇行して水雷發射の目標を不定ならしめる事艦船の區劃を多くして容易に沈沒せぬやうにする事など外には潛航艇に對する手段は無い恰度盲目の大人を小供が毆り付けるやうなものである

◆白晝暗打ちを 喰ふのだから致し方が無い、しかし大きい丈けに軍艦の方で先に潛航艇を見付ければそれこそ磐石で卵を押し潰す如くに一溜りも有らせず乘り壞はして終ふが軍艦の方で見付ける頃は大抵既に水雷は發射されて居る、而して獨逸の潛航艇は

◆列强の潛航艇 に比して餘程進步して居るやうに考へられる大分以前に獨逸海軍大臣の演說に依ると現在潛航艇は十四日間の航行力を有して居るが更に數日の航行力を增加し時々艇を海底に定泊して乘組員を休養せしめる爲めに必要の裝置を爲す旨を述べて居つたから現今獨逸の潛航艇は

◆餘程の航續力 を有つて居るものと見て差閊へない現に大西洋方面に出沒して居る獨逸の潛航艇は何れも北國の西を迂廻して居るのである、潛航艇の進步發達に伴ひ從來の海岸防備の爲めの

◆砲臺又は要塞 などは餘程其効果を減じたわけである、今後の戰は空に飛行機あり水底に潛航艇あり從來の陸上水上の戰術に一轉化を來すべき事は勿論であるが空中からの攻擊は多くの場合其損害も一部分で大局には差したる影響を與へないが潛航艇の與ふる影響は軍事上經濟上から大局に影響する場合が多い、日本なども萬一戰のある場合には多數の潛航艇を活動させる事は勿論

◆釜山と關門間 の海中に網を張つて運送船は網の中を航行して潛航艇の襲擊を防ぐ位の大仕掛をする覺悟を以て居らなければならぬ、それには工業も發達させるし財力は勿論豐かでなければならぬ、何にせよ小さき潛航艇一隻を動かすには一萬噸位の巡洋艦を動かすと同樣の經費を要す。

# ◉檢事の隱袋から金を盜む

忠南扶餘郡窺岩面窺岩里當時住所不定無職丁三福(二六)は大正五年八月十五日公州地方法院に於て窃盜罪により笞九十の處分を受けたる曲者なるが大正四年一月中京城西小門內京城地方法院檢事境長三郎氏方に雇はれ中主人の外套ポケットの中より金二十八圓を窃取し爾來常習的に窃盜を働き同五年二月二十二日午前五時頃公州旭町公州地方法院檢事兩角誠氏方に忍び入り書生與村俊求寢室の机の抽斗の中に入れ在りたる同人所有の現金四圓十錢其の他を窃取し又同年五月二十三日午前九時頃公州旭町關場源治(道書記)方に忍び入り表座敷簞笥の中より現金六十九圓六十三錢を窃取し又本年二月以來公州小城町今井伊亚吉外二三箇所を襲ひ何れも皆酒食に消費し居たるが先日公州警察署の手に逮捕され檢事局へ送られたり(公州)

# ◉列車內で病死
## 肺病の露人轉地の途中

二十日午後九時十分安東縣より南大門驛を通過して釜山に向ひたる急行列車が大田驛に到著の際一等室にて死亡したる露國人あり露國チタ市アレキサンドルスカヤ街居住の牧畜業ヤコブ、ブーゲル(三七)といひ四箇月前より肺患にて氣分優れず日本に渡り東京に轉地療養せんと妻アンナプゲル娚マッシーケルレウイッチを附添ひとして內地渡航の途中水原驛附近より俄かに重態に陷りたるより鐵道局にては醫師を同車に特派して應急手當を加へしも途に太田驛にて死亡したるものなりと遺骸は遺族等に護られ二十一日午前京城に送還され京城駐在露國領事館に其の旨を具申し保護を受けて鄕里に歸還のことなれり

# ◉一晝夜の山火事

全南求禮郡土旨面文洙里牛失峰に十日午前十一時より翌十一日午後一時頃迄山火事あり火は飛んで程遠からぬ繼續きの福岡大學演習林に燃え移り約二十町步延燒せし頃村民四十名は求禮分遣所の指揮に依り四方より火を圍み遂に消し止めたるが損害は些少に止まり原因は火田耕作者が過つて火を失したるものならんと

# ◉視察團の歡迎
## 準備に忙しい長春

本社主催視察團歡迎會を二十六日午前十時三十分より大和ホテルに於て開催すべきに付二十一日歡迎會主催者村田滿鐵地方事務所長は當地の主なる官民に對し案內狀を發せり(長春特電)

# ◉新造船鶚丸
## ケツチ形＝速力八哩七步 船內の設備＝現在の乘組員

農商工部水產課の考案設計に依り大阪原田製船所にて建造せしめたる水產試驗等に充つる特殊任務船鶚丸は既報の如く十九日釜山に入港したるが今同船の構造其他を聞くに船形は

◆形狀を異に せるケツチ形二本檣の木造船にして[illegible]七十二呎巾十七呎[illegible]噸數六十[illegible]馬力百四十、建造價格は二萬九千八百七十五圓[illegible]同十一月十五日[illegible]本年三月五日[illegible]速力八哩七步を出し[illegible]五日午前五時大阪[illegible]るものなるが一見普通漁業汽船[illegible]

◆船內士官室 と云ふも僅かに一坪半に過ぎず其周圍には上級船員の寢臺八棚、船首に水火夫室十二名詰の一室と前面部に一個の船艙あり、甲板上は船艙室の外中央部後檣の下に油貯藏室あるのみなるも愈々任務に從事すべき際には起重機、ガロース及び漁網を取付得べく尙左右船側には八へ繩を繰込むべきラインボールを備ふべしと斯くて茲に始めて特殊船としての

水產試驗船鶚丸

◆體裁を具備 するに至るべし現在の儘にて強ひて特殊の點を擧ぐれば船長に比して船幅の廣きこと及び前檣の三十八尺に對して後檣の三十七尺即ち一尺の短き位に過ぎず現在の乘組船員は船長以下總員八名なるも實務に服する場合は十二名の增員を要すべしと(釜山)

# ◉仁川の微震に就て

二十日午後七時一分仁川地方は北東より鳴動を伴ひたる急激の震動起り家屋は上下に動搖したるが此れに就き仁川觀測所員曰く二十日夜地震は微動計には明らかに波動を記錄したるも本觀測所には水平動のみを記錄する微動計あるを以て震源地の距離其他の狀況を詳細に知る事を能はざりしが恐らくは仁川海州中間仁川を距る約十五里北東の海底に起りたる者の如く觀察さる云々因に從來仁川觀測所の微動計に感じたる地震中最も著るしかりしと(仁川)

# ◉小火三件

二十日午後一時半頃京城西大門町一丁目二百二十七番地酒幕金宋甫方より發火し藁屋根を燒毀したるのみにて家人が消止む原因は巫女の祈禱火より發火したるもの▲十九日午後五時三十分頃鍾路三丁目八十九番地古物商李寅永方古綿に飛火したるものより發火したるを即時消止む▲同日午後八時十二分頃貞洞十二番地ペンキ職金秀明方にてペンキの溶解中引火して大事に及ばんとせるを附近の者が消止む

◉盆栽大會 二十二日京城明治町京城拓殖會社々宅にて盆栽界の中心より成る共樂會の主催にて春季展覽會を開催なす筈なるが近年各地とも盆栽熱の盛んなるより多數秘藏の出品あるべき筈なりと

◎妙心寺の法話 後藤瑞巖老師大邱釜山地方巡錫中なるが二十二日午前九時より早川鐵道居士の[illegible]心寮に就ての法話ある由

◉千代寺住職逝去 京城南山町三丁目千代寺住職尾昌信師は過日來病氣の處二十日午後七時死去せり葬儀は廿二日午後一時明治町東拓裏空地に於て執行の筈なり

## えんげい

◎壽座の七日目 今秋能樂泉勘三郎一座は相變らず斯道熱心家の見物多く連夜盛況なりとて居れるが七日目の番組は俊寬、松風、望月、殺生石にて狂言は神山、伕、入百川、仁王等なり

◎有樂館 活劇死の旋、喜劇窓消一代記、新派悲劇舞之扇等にて殊に死の旋は有樂館が封切にて最も面白きものなりといふ

◎大正館 二十日より差替への寫眞は喜劇非上大九郎三卷、活劇快漢ロロー、新派悲劇不如歸六卷なり

◎黃金館に奈良女 黃金館にては二十日より差替への喜劇天神丸、活劇十時の秘密、新派悲劇命懸けにて尙ほ二十一日より目下浪花館に出演中なる女浪花節奈良女出演余興を勤むべしといふ

◎壽館 二十三、二十四の兩日山村連の春季舞踊溫習會あり三弥藝妓の出演あるべしと

◎御成座 新派靜間三郎一行にて二十二日夜の替りは血淚五幕、喜劇ぱッぱりー二場なり

◎素人淨瑠璃會 竹本若登連中の素人淨瑠璃會は二十一、二十二兩日本町勸商場二階に開會せり

●取消● 去る十九日本紙朝刊三千四百四十四號第三面の『五重の塔を欺むいて買收る』と題する記事中仁川龍岡町土木請負業片山佐吉外二名が共謀云々に對し右片山は全く共謀の事實なく從つて檢事局送りの事實も無根なる旨本人より申出でありたるに付取消す

# 北漢山登は愈本日午前七時半獨立門集合八時出發

寶探しの場所は山上に指定してあります而して番號を記した木札を隱してありますから發見者は其の番號札を歸京後本社に御持參下さい品物と引替へます

京城日報社
每日申報社


法人登記公告
長湍地方金融組合登記事項中出資ノ總口數四百五十五口拂込ミタル出資ノ總額ヲ八百參拾八圓ト變更ス
右大正六年四月二十日登記
京城地方法院長湍出張所

◎勸業 貯蓄 債券薄利賣買
暴騰せる今日申込料や手數料いらず割增金クジ樂しみある債券獨特販賣
額面九拾圓 組賣は毎月金貳圓[illegible]拾錢宛總拂込[illegible]
第一回金御送金になれば契約金領收
毎月送金には當方より御照會に上進呈
無限責任 京城長谷川町
甲子合資會社 朝鮮京城四四四一番
代理店

松丸太杭木用並に建築材料
今般湖南線井邑驛前に派出所を置き現今數千本の出材致有之候間多少に不拘御用命之程願上候
三幸洋行井邑派出所
營業種目
杉丸太(足場用材)長尺物
鮮松大丸太(造船用適材)
杉皮(土居葺用)
日本檜材(荷車用材)各種
赤身檜長五間內外 末尺五寸以上二尺內外
青竹並に建築材料一式
朝鮮京城 岡崎町 三幸洋行 電話二八〇番 振替口座京城三一九五番

ビールの眞味を解する方は擧つて本品を愛飲せらる
サクラビール

兎角今迄のお菓子に御飽きの方に
もつと新らしい
珍らしい弊店の名菓
■衛生飴 ■高麗飴
■高麗の霞(一名五色九重) ■ウエーファー
■シヤムペン ■マカロン
■タアピー ■其他いろ〳〵
を御勸め致します
(御注文次第見本御屆け致します)
內外製菓 卸小賣商 門田朝鮮堂
京城本町四丁目 電話一六八六番 振替京城三三四一番

# 怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百四十二

葉櫻の陰「二十八」の三

『奥様、そりや貴女何を仰有るんです。私が何心なく以前の御良人の事をお訊きした爲めに、飛んだ境遇の御述懐となつて來ましたやうですが過去の事は過去の事として、只今では現に男爵閣下のお膝下に此の通り何の支障もなく御氣樂にしてお在なんでは御座いませんか。そんな事を仰有るのは、そりや所謂取越苦勞と云ふもんで御座いますよ。』

幸三郎は、別に合槌の打ちやうもないので、普通一通りの慰めらしい事を言つて居たのである。

『いゝえ、取越苦勞ぢやありませんの貴郎だからお話しますけれどもね、御前にはちやんと妾へ内所の花があるんで御座いますのよ。』と、言ひさして袖子夫人は、それとはなしに坂下の淨玄寺の境内を横目に視ながら『だもんですからね、倉橋さん、妾に什うしてもまだ眞正の夫人の位地を與へては下さらないんですわ。』

『へいーッ、それは私も大意外に感じますが、豈夫男爵閣下ともあらうお方が、そんな不品行な事はなさらんでせう。假りに若しあつたと爲ましても、それが爲めに必ずしも貴女を蔑ろになさるなんて……それは什うも私には信じられませんですな。』

『貴郎がお信じにならないでも、事實は事實なんですから、仕方がないぢやありませんか。ですからね、妾只ッた一人で好いんですから、卒と云ふ時、興味の相談對手になつて貰ふ人が欲しいんですのよ。妾……倉橋さん、貴郎をお見掛けして無躾な事を申すんではありませんが、ほんのお話の序だから聞いて下さいね妾、稚い時に藝妓の下地ッ子に賣られて了ふほどの境遇なんですから、兩親なんて者があつたかないかも知らないんですの。尤も、妾を最初に抱へて呉れた親方の話では、何でもその頃の銘酒屋とか揚弓店とかの女がお客の胤を宿して出來たのが、妾だと云ふこツてすが、年配から云へば、まだ確かにその阿母さんと云ふのも、現世に生きて居る筈なんですけれども、それッきり音信不通になつて居ますので、生死のほども分りは爲ないんですの。木から落ちた猿とは、妾のこツてすわね、倉橋さんそれに折角力となつて呉れさうな所夫は出來ても、男と云ふものは、氣の向いた時ばかりは掌へ載せるやうに爲て大切に可愛がつて呉れても、少し他に美しいのでも出來たが最後秋の扇は惜措き、氷のやうに冷たくなつて了ふんですもの。本統に心細くて泣きたくなる事が何れ位あるか知れや爲ませんの。ですからね、倉橋さん、妾、決して戀の情のと云ふんぢやありませんから、萬々一の時丈は、妾の眞實の援者になつて頂きたいと思ひましてね……それならば貴郎も豈夫、お厭とは仰有りや爲ないでせう。』

袖子夫人は、語り了つて、禰袢の袖に窃と瞼を押拭いたのである。

『成程、然うしたお話を承はつて見ますと、怎麼にも御同情に堪へん點もありますが、併し、奥様、私風情が何と申し上げた所で、到底貴女の御相談對手などになるべきもんでも御座いません。只私としては、矢張り貴女の御幸福を祈つて、男爵閣下が秘密に匿つてお置きになるその美しい花さやらを御斷念遊ばす時期を待つより外は御座いませんです。』

幸三郎も自然袖子の境遇談に吊り込まれたのであるが、然らばとて、立ち入つて袖子の謡通り、私が一切お引請致しますと答へる程の元氣はなかつた。

『……では倉橋さん、貴郎は妾が事を分けてのお頼みを背いて下さらないんですの？』

袖子は、案の條大不滿の口吻。

『いや、然う云ふ次第ではありませんが、私如き者が、何と申した所で……蟷螂に申す蟷螂の斧です。』

『いゝえ、宜う御座います。妾が貴郎のやうな一心凝つたお方ならばと、お願の末までも見込みを付けて、ひしたのに、背いて下さらないとあれば、妾も明日からは、その了簡でお交際するまでのこツてす、貴郎は矢張心の中に、明けて言はれない秘密を有つてお在ですから、それで藪上りの妾なんかの語を耳に掛けて下さらないんでせう。』

袖子は、無遮々々と手に持つて居た白躑躅の小枝を微塵に採み砕いて、礑と幸三郎の脚下へ叩き付けたのである。


東京製 五月幟 外幟、座敷幟 二圓半位乃至十圓位迄各種 京城本町一丁目 サクラヤ

業務擴張之爲左記へ移轉 ホワイトシャツ カラー、カフス は東屋製に限る 安くて着心地よい試して御覧 シャツ新柄多數取揃在中候 京城本町二丁目九八（亀屋前入） 製造元販賣 東屋シャツ店

千壽須磨 朝鮮京城本町二丁目 青木商會製菓部謹製 電話二三八〇番 人蔘マルモラード 松實ケンデー 栗納豆 三色納豆

氣候の變り目に 人蔘キヤラメルを 御愛用あれ


□京城二葉會句集　無難庵帝史宗匠選

綱代守子は宮城に仕へけり　平澤　奇庭

草もえて父母の名を祖に稀めて　龍山　孤月

俳諧の雪となる日や置火燵　平澤　細月

水鳥の落着き遊ぶ御濠かな　阿波　惠雨

大雪さ戸を叩きけり酒の門　同　庭月

何處へ行く鳥ぞ野も雪山も雪

寒月や風に痔たる声の骨

## 商況

大阪期米（二十一日）

▲二十一日後場（押目買引締まる）

| | 寄付 | 引け | 前日比 |
|---|---|---|---|
| 高値 | 一五、六〇 | 一五、八九 | 一六、四〇 |
| 安値 | 一五、六五 | 一六、八九 | 一六、四〇 |
| 出來 | 一五、六〇 | 一五、八二 | 一六、三〇 |

十八錢と押したるも押目は目先利喰に新規に買物多く忽ち十三圓〇三錢と跳ね返したるが戻りは又買物多く[illegible]、三錢ともみ合うて動かず大阪正八十錢の［illegible］に納同〇三錢と保合の［illegible］に下げ［illegible］の折柄忽ち跳ね返したる儘依然小變動に過ぎなかつた

▲後場の手振　重なる關内買方⊕二千餘石⊕、賣方⊕ ［illegible］

四十六口　一萬三千三百六十四叺 内格上げ六口　千九百七十九叺 五錢より四十錢迄格上げ 同格 ［illegible］

徭貸投んさする者の如くにて一朝［illegible］起か反動を來さんか一層以上の暴落を餘儀なくせしむるには非ざるなきや時日の推移に連れ全面開始するならん

▲現物［illegible］

百石△先限⊖［illegible］、九錢十三圓⊖［illegible］二錢三錢⊕［illegible］二錢三錢二［illegible］

二十一日の六月限［illegible］

## 新刊紹介

▲最新研究株式投機（高村［illegible］著）本書は［illegible］證券の研究を［illegible］……東京博文館）

▲美術及工藝（創刊號）朝鮮古美術及び工藝に關する一切の事項及び之に關聯せる地理、歴史、人物評論等の研究を目的として生れたるものにして本號には伊藤［illegible］の長谷川總督の題字山縣政務總監の除、關野帝室博物館長の題字及び李王家博物館の所藏に係る三國時代慶州の金銅阿彌陀佛如來、金剛團扇、紺本著色觀音圖、高麗時代の青磁透彫香爐等のコロタイプは用紙精良印刷鮮明に記事には李王家博物館の浩澤と朝鮮古美術の大小観（宮三保松）美術上より見たる解剖學（久保博士）朝鮮新論（林田虎雄）日本傳來の錦印と高麗の古印（八木奘三郎）朝鮮傳來の茶碗目利に就て（宮澤清孫）新羅時代に於ける美術及び工藝の擬化（鮎田奈水）其他十數を收め更に雜録書畫、骨董、工藝家内等の欄を設けて斯界一般の狀況を紹介せり世人此の種雜誌の發刊を待つこと久しく今や仍生ゐる健全なる生長を祈らずんばあらず（一部定價月三十錢京城南米倉町一〇東洋美術協會）

▲第三帝國（四月號）卷頭政治上の權利自由社會上の權利自由（社説）明治大正與國の秘密暴露（江木衷）政局と國費（大隈數）自己の選舉權を如何に行使すべきか（安部磯雄）歐洲戰亂中に於ける民主主義の大發展（SO生）露國革命觀（長瀬ドルトル外二氏）新文藝の理想（土田杏村）近代文學の一傾向（馬場孤蝶）芥川鐵子人人の心中沙汰を論ず（山田わか）等々の外め同人昨論「政治教育」「文藝」「思想」「社會」「山村暮鳥」二詩の家の本體の主張と高き趣味を鼓吹す（二十錢東京牛込新小川町三其社）

▲蒲家研究彙報（四月號）桑と產桑、工業、鑛業、鐵道、水產、畜産業其他各種數の記事本誌獨特（月三十錢原乃木町滿蒙研究會）

▲朝鮮農會報（四月號）百合栽培法、棚桑栽培法、牛と金融等の農業本由、宮原、杭木各委員の論説其他各欄如例（二十錢京城鍾路水原郡日報商高等朝鮮農會）

▲柳澤統計研究所第二回報告 總裁柳澤保惠伯の下に主として人口及び統計に關する研究調査を報告す本號は自大正四年七月至五年十月（價不詳東京芝山町八の一柳澤統計研究所）

▲拓殖新報（四月號）戰後の產業發定と國民の覺悟（井上博士）朝鮮拓殖事業の新生面（石塚英藏）等拓殖に關するもの十數其他（二十五錢東京々橋北紺屋町四其社）

▲國民評論（接戰號）舉國一致內閣（浮田博士）露國革命の前途（田中穂一郎）清年と自由結婚（內ヶ崎作三郎）（國民思想の統一（社説）等（十五錢東京麹町有樂町一の三其社）

▲新刊療法解説書全部 實驗集無代呈す

（新刊紹介の詩歌欄）

世を避けて我は花より枯野哉　［illegible］

水仙に默想の眼差しけり　［illegible］

時雨るゝや馬は首を垂れ行く　［illegible］

初冬の障子新しき陰かな　［illegible］

蘆枯れて故園を出る移民かな　［illegible］

梅咲いて歌を詠む家の主かな　［illegible］

年木こり松より榊伐り出しけり　［illegible］

小使の火桶を抱へてや冬籠　［illegible］

行年の大火見舞に人の影　［illegible］

[illegible]


## 京日案内

普通一回五十錢（一行十二字詰）二回以上は特別割引　▲番外一回　▲御照會の節は必ず返信料御添付を乞ふ

▲古本 古樂器買受は絶大の信用ある本町ウツボヤ書店 振三三五七 965

◎牛乳配達夫入用年齡二十歲以上京城府内に保證人を要す 門外冷洞七六東洋牧場電九三六1 西

◎金銀細工職人二名入用 京城高木商店 968

◎融通月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談 大和町三の三二（扮浴前）足本 978

◎商家、各家庭等貸地、其他水道、水鐵前本道附近、御希望者御來所 京城明治町中央婦人病院內衣室 [illegible]

◎試驗（印刷見積）に經驗ある者 本日着 ▲店員 ▲補字 ▲解版數名 ▲有募集す希望の者は身元履歷書送付あれ 京城旭町二丁目 京城印刷所 901

▲牛耳洞行自働車 毎日運轉 御乘車の節は往復共に通知願ひ牛耳洞行自働車 電話三三九一番 [illegible]

恩給年金立替（御時取引）短期無保險 京城若草町一〇（金光教界） 國江商會 電話二三九一番 903

◎店員 十六歲より二十五歲迄二名 ◇小僧 十五歲迄二名 江原道春川大和屋呉服店 500

法人登記公告

一、南陽地方金融組合 貸出總口數 四百八十九口 貸出總額 四百拾五圓拾九錢一、水原地方金融組合 ト變更ス 貸出總口數 四百拾五口 出資總額 四百九拾四圓四拾五錢 右大正六年四月十八日登記ス 京城地方法院水原支廳

亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛 右の鑛種に對し 鑛區買入 融通 鑛物買入（許可鑛區・先願權） 京城明治町一丁目七番地 正已鑛業所 電略（マ）又は（マサミ） 電話一五九

勸業債券 月賦販賣 各地代理店を求む 希望者は履歷書送附あれ委細詳報 東京市下谷區車坂町五十一番地 合資會社 東京貴業商會 振替貯金口座東京三五七五番 電話下谷五七七五番

◎軍隊拂下被服類 ◎毛布賃貸の御依頼に應ず 其他メリヤス、シャツ、サルマタ、ズボン下 右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候 京城北米倉町 電話千百十二番 メリヤス卸商 雜貨 村上商店

わきが 治療好期 全快實驗 ◎醫學士尾崎若心の院長音尾軍醫官考案の新研究藥學士橋本證明の自療劑は難症にも大効有り東京小島新小梅二東京新療院藥部へ郵券三錢添申込あれ ▲新刊療法解説書全部 實驗集無代呈す



謹告

從來京城黃金町一丁目二百十番地に株式會社東都興業銀行朝鮮總代理店と稱し當行債券部の事務を取扱ひ來りたる處都合に依り先般朝鮮總代理店を廢し總ての事務は本行直接取扱居り候に付御購買者諸君は御安意被下度且つ御用の節は直接本行へ御照會相成樣奉願候爲念此段謹告仕候也

大正六年四月

東京市日本橋區本石町四丁目十一番地

株式會社 東都興業銀行債券部

宮内省御用達 上貴品

原料香水 星の數程ある香水中で一番いゝ匂ひは オリヂナル 廣い世界に只一つ

本舗東京 安藤井筒堂 代理店大阪 藤森源之助

梅毒 有無 診斷液

ロツクフエラー研究所病理部長米國醫學博士理學博士野口英世氏發見

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潜伏して身體の衰弱せる時に腦神經、內臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現るものなり

其外部へ現れしものは治療に便なれども潜伏、遺傳、其他內臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲途に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潜伏の何れを問はず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就てルエチンの注射を試みられよ其有無直ちに判明して疑問は速に解決すべし

本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり

ルエチンは內科、外科、小兒科、皮膚科、眼科產婦人科、耳鼻、咽喉科等凡ての專門各科に利用すべきものなり

醫家及藥業家諸君に急告

弊社今般細菌部を新設し前記ルエチン及各種ワクシンを發賣せると共に傳染病研究所の血清類を特約販賣す

圖ルエチンは野口博士の下に研究せる赤澤ドクトル擔任

圖ロツクフエラー研究所の特許を得て製造す

圖ワクシンは英國ライト博士の下にて多年研究を積みたる改上ドクトル擔任して十餘種を製出

最新鮮有效なるものを供給す

說明書あり申込第次送呈す

東京京橋區南傳馬町三 株式會社 三共 細菌部 電話京橋一七八五 振替東京二〇五二二

ルチエン



ルーデサツク 一打 三圓 一函 七拾錢 ▲花柳病自宅療法 東京 ドラツク商會 京城本町二丁目交番北 滿鮮本部

賛化病院 京城本町二丁目 電話二四二番 內科 小兒科 入院隨意 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏 無料施療す 毎日五名を限り

最新刊

◎詩翻譯和大字典　［illegible］　一、二〇
◎死の蔭　［illegible］　一、二〇
◎某商店の組織及經營　［illegible］　一、〇〇
◎現代の要求　［illegible］　九五
◎聖德太子傳　［illegible］　一、〇〇
◎日蓮聖人　［illegible］　一、二〇
◎三浦の安針　［illegible］　一、二〇
◎草合　［illegible］　一、二〇
◎教育と修養　［illegible］　一、二〇
◎臨床應用の［illegible］　一、二〇
◎趣味の實用支那語教本　［illegible］　八〇
◎簡易生活　［illegible］　八〇
◎美人と自然と入生　［illegible］　五〇
◎つれづれ　［illegible］　一、〇〇
◎半農生活　五十嵐力　一、二〇
◎草花の作り方　［illegible］　一、二〇
◎養大大集上中下　［illegible］　三五
◎ざつくばらん　［illegible］　一、〇〇
◎上古落語集　［illegible］　五八
◎實用新式古板裁縫全書　［illegible］　九〇
◎八重むぐら　五十嵐力　六五

大阪屋號書店 京城本町一丁目 電話六〇七六番 振替京城二五七三番

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と親切を旨とし御需に可應候 京城日報社 寫眞製版部

尼崎汽船仁川出帆

山木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 大君有丸 五月二日午後四時出帆

秀吉丸 四月 日 午後四時出帆

神代丸 四月三十日午後四時出帆

仁川港 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行

三河丸 四月廿二日正午出帆

砥丸 五月 日正午出帆

部丸 五月 日正午出帆

仁川港 回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 四月廿六日午後五時出帆

立神丸 四月廿五日午後十時出帆

元山丸 五月 日午後四時出帆

○第三長平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 日後六時出帆

○第三太平丸 第三號 門司、浦、城津、清津行

佐須奈、厳原、壹岐、博多行 第三ツ 毎月九日十四日廿六日 午後十時出帆

天草丸 毎月二日 廿二日

大池回漕部 本部 釜山港立新町

大阪商船仁川出帆

天津、芝罘、大連 ［illegible］

[illegible]

安東丸 五月二日

安平丸 四月廿三日

上海、芝罘、打狗行（大連經由）

湖北丸 四月 日

基隆丸 五月三日

仁川代理店 大阪商船會社仁川支店

三共同汽船仁川出帆

大連行 伏見丸 四月廿四日 午後六時出帆

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七〇番） 仁川代理店 野口回漕店

朝鮮郵船仁川出帆

京畿丸 五月 日

江原丸 四月 日

黃海丸 四月廿九日

成鏡丸 五月 日

總城丸 四月 日

昌平丸 四月廿三日

鏡城丸 四月 日

[illegible]

元山代理店 南大門 田口回漕部 電話二二八〇七 京城取次店 河村運送店


活版職工に雇はれ中本年三月末迄の間に前後十六回に亘り同社の鉛字を[illegible]